

Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

『占領下の奄美・琉球における教員団体関係史料集成』
解説・総目次・索引

不二出版

[人名索引]

著作者 誌》(巻)号=通号-頁

【あ】

- | | | | |
|----------|----------------------------------|-------------|--|
| アーサー・ミード | 世》2-5 | 東 可梯 | 大》(3) 2-4 |
| 青木しげる | 文》(6) 8-5 | 中 三次郎 | 文》(4) 2-30,
(5) 3-5, (5) 9-27, (5) 10-26 |
| 青木誠四郎 | 世》1-17 | 天野 貞祐 | 二》2-3 |
| 青野 哲久 | 文》(5) 11-33 | 天久 恵秀 | 時》37-2 |
| 赤井 米吉 | 教》3-17 | 新垣 孝善 | 二》7-3 |
| 赤羽 王郎 | 文》(5) 7-14 | 新垣 正安 | 世》3-39, 4-20,
5-18, 6-41 |
| 赤嶺 卓義 | 二》2-2 | 新垣 良心 | 世》3-40, 5-15 |
| 東江 正美 | 教》12-26 | 新里 金福 | 時》8-1, 34-2 |
| 東江 光子 | 世》3-24 | 荒田 兼良 | 大》(1) 4-11,
文》(5) 11-17, (6) 11-21 |
| 秋 穂 生* | 文》(5) 1-41 | 有賀 藤市 | 文》(4) 3-17 |
| 栗国 朝光 | 二》7-2 | 有川 一郎 | 大》(2) 3-17 |
| 安慶田能央 | 時》30-2 | 有川洋一郎 | 大》(1) 4-21 |
| 朝 水球 | 文》(3) 9-8, (4) 1-14,
(4) 4-36 | 有田 清与 | 文》(5) 5-12,
(6) 8-35, (6) 10-10 |
| 朝倉 孝義 | 文》(5) 8-13, (5) 9-29 | 有田万理代 | 文》(6) 10-27 |
| 朝戸 昭雄 | 文》(7) 3-13 | 有村 武義 | 文》(4) 1-0, (5) 7-32,
(5) 7-0, (6) 1-25, (7) 1-0 |
| 朝戸 澄男 | 文》(7) 3-14 | 阿波根朝松 | 教》16-5 |
| 安里 永誠 | 教》13-15 | 栗盛 広幸 | 世》4-19 |
| 安里 長行 | 世》3-26 | 安藤 画一 | 文》(4) 11-3 |
| 安里 延 | 教》9-11, 11-26 | 碓山栄子(碓山、栄子) | 大》(1) 3-0,
(1) 3-19, (1) 3-23, (1) 4-28 |
| 安里 彦紀 | 教》13-24, 13-27,
14-18 | 碓山 益子 | 文》(5) 8-0, (7) 5-15 |
| 阿佐野 広 | 世》1-25 | 碓山 満夫 | 文》(6) 7-52 |
| 葦間 洌 | 世》1-28, 2-29,
3-17, 3-34 | 碓山隆二郎 | 文》(4) 1-1, (4) 1-0,
(4) 2-6, (6) 2-24 |
| | | 生盛 孫貞 | 世》3-39, 6-26, 6-43 |

池 豊良 文》(5) 4-13
池 ・ 雅 教》6-19
池城 朝清 時》2-2, 37-2
池間 正幸 時》7-3
池宮城秀意 教》11-5, 12-5
池宮城 秀 世》3-25
池宮 秀意 教》5-10
池村 恵信 宮》1-2, 時》1-1, 37-1
池村 恒章 宮》1-4, 時》37-2
勇 ひさ子 文》(7) 2-18
石井 美久 大》(1) 6-21
石垣 英政 世》3-22, 3-40
石垣 信政 世》2-16, 3-39, 6-41
石垣 長泰 世》2-23, 3-33, 3-0
石垣 正行 世》3-22, 3-0
石垣 用中 世》1-7, 3-29, 3-0
石川 盛亀 教》1-15
石崎 薫龍 文》(3) 9-19
石崎 正一 文》(3) 9-4
石崎 正 文》(5) 4-34, (6) 7-59,
(6) 11-34, (7) 5-21
石橋 勝治 文》(5) 3-1
石山 脩平 文》(4) 8-6, 教》6-3
伊集院正光 文》(7) 3-13
泉 四郎 大》(2) 3-18
泉 俊義 文》(4) 1-40, (4) 1-0,
(4) 2-32, (5) 11-22, (5) 12-24
泉 芳朗 大》(1) 2-3, (1) 5-2,
(1) 6-0, (2) 1-19, (2) 2-2,
(3) 3-12, (3) 4-17, (3) 4-20,
文》(4) 1-0, (4) 4-27, (4) 8-4,
(4) 9-9, (5) 7-32, (5) 7-0, (6) 1-12,
(6) 2-20, (6) 7-20
泉 有平 文》(4) 1-0, (4) 7-11,
(7) 1-1
泉 芳 文》(5) 7-20
一 教 員* 時》33-2, 世》4-21
伊地知正智 文》(6) 7-52
一 女 教 師* 文》(6) 8-18, (7) 2-14
糸数 用著 世》1-7, 1-14, 3-3,
3-5, 3-39, 4-3, 6-41
稲田 恒 大》(1) 3-13
稲嶺 一郎 教》7-2
稲嶺 盛孝 教》13-15
稲村 賢敷 宮》1-4
乾 養仁 文》(5) 8-10, (6) 1-12
乾 養和 文》(6) 7-17
伊波 弘祐 世》6-24, 6-41
伊波 南哲 世》3-28, 4-12, 5-28
伊林 洋郎 文》(6) 12-41
井原 清寿 文》(5) 2-7
今井 一夫 文》(7) 3-13
今井美智子 文》(6) 10-44
岩切 正行 文》(6) 10-31
岩佐 桂 文》(5) 3-17
岩永 信吉 文》(3) 9-11
岩間 正男 大》(1) 4-7
岩山 ハナ 大》(3) 2-4
ウイルソン・ポーター・ジュニア
文》(5) 12-6, (6) 1-3, 時》37-1

上江洲絜統	教》3-6, 5-8	円 令子	大》(1) 5-12
上田庄三郎	文》(5) 5-11, 教》12-28	遠藤 孝敏	文》(7) 2-13
植田知登枝	文》(7) 1-13	遠藤 隆吉	大》(1) 4-10
植田 勇蔵	大》(2) 2-10	大 阿*	文》(6) 7-18
上原 栄	教》7-29	大井 憲吉	大》(1) 6-9, 文》(5) 9-9
上原 富雄	文》(4) 4-27	大井 秀子	文》(6) 7-53
上間 亀盛	教》13-29	大内山喜三郎	文》(4) 11-22
ウォルター・アー・オーエンス		大勝清志(大勝清、大勝、おうがち きよし、きよし)	
文》(6) 1-0, (6) 12-57, (7) 2-0			
宇崎 哲也	文》(6) 12-1	大》(1) 2-19, (1) 4-2, (1) 6-12,	
内原 英郎	世》3-24	文》(3) 9-25, (4) 2-34, (4) 3-34,	
梅園 博子	文》(7) 4-12	(5) 6-16, (5) 8-24, (5) 9-25,	
浦崎 賢保	世》3-28	(5) 9-27, (5) 12-3, (6) 7-34,	
浦崎 純	世》1-7	(6) 7-39, (6) 7-55, (6) 7-56,	
浦崎 徹	世》5-36, 6-41	(6) 7-59, (6) 8-2, (6) 8-42,	
浦添 為貴	世》2-23	(6) 8-51, (6) 10-25, (6) 10-39,	
浦田 国雄	文》(4) 4-27, (4) 7-3	(6) 10-49, (6) 11-18, (6) 11-40,	
浦松佐美太郎	世》6-34	(6) 12-63, (6) 12-0, (7) 1-16,	
瓜賀 一郎	文》(4) 12-20, (5) 1-34,	(7) 2-2, (7) 2-0, (7) 3-22,	
(5) 7-19		(7) 3-0, (7) 4-14, (7) 5-6	
海野なるみ	文》(5) 5-22, (5) 10-4,	大宜味朝恒	教》12-5
(6) 1-19		大倉 忠夫	文》(4) 12-3
栄養 一路*	文》(6) 7-38, (6) 12-58	大重 栄寛	大》(2) 1-1,
江口 哲也	文》(4) 11-1	文》(4) 9-14, (5) 7-14, (5) 8-39,	
江島寂鳥*	教》11-20	(6) 1-12, (6) 1-32, (6) 11-19	
恵藤 久美	文》(4) 10-27	大島 忠道	文》(6) 11-38,
恵原 義盛	文》(5) 6-12	(7) 1-4, (7) 2-1, (7) 3-21	
エ ム 生*	教》6-10	大城 立裕	教》5 附録-1, 7-20
撰 泉洋	文》(7) 1-10	大瀬 忠三	文》(6) 8-7
円 辰郎	文》(7) 4-18	太田ユミ子	文》(4) 8-19

大 谷	文》(6) 12-48	小川 太郎	文》(4) 7-4, (4) 8-7
大谷香志行	大》(1) 5-25	沖島 寛和	文》(6) 7-53
大津 鉄治	文》(4) 9-18, (5) 1-4, (5) 7-0, (6) 1-25, (7) 1-0	沖野 友栄	文》(3) 9-1, (4) 1-0, (7) 2-0
大野 重隆	文》(6) 1-12, (6) 1-25	興 ふじ	大》(1) 2-24
大野 繁芳	大》(2) 2-21	奥親雄(奥、おく・ちか)	
大野ひろ子	大》(1) 4-22	大》(1) 3-11, (1) 4-31, (1) 5-31, (1) 6-22, (2) 1-13, (2) 1-21, (2) 2-0 (2) 3-20, (2) 4-0, (3) 2-0, (3) 3-0	
大野フヂエ	文》(4) 12-12		
大納 輝久	文》(7) 3-14	奥里 将建	二》8-4
大浜 英昌	世》3-24	奥田 愛正	大》(2) 1-3, (2) 2-22, (2) 3-13, (3) 4-14, 文》(4) 1-0, (4) 4-33, (4) 8-1, (4) 8-0, (4) 11-9, (6) 12-0, (7) 1-14
大浜 英祐	世》1-7, 1-32, 2-23, 3-40	奥田 米子	文》(5) 8-4
大浜 賢仁	世》3-29, 3-0	屋田 甚助	文》(5) 1-4
大浜 信吉	世》3-39, 6-11, 6-43	屋宮 正三	文》(5) 11-31
大浜 孫章	世》3-24, 3-0	屋宮 為市	大》(2) 1-6
大浜 孫佑	世》4-22, 6-41	奥山 真義	文》(4) 7-19, (5) 2-18
大浜 当宗	世》3-27, 3-0	押 勇一	文》(5) 3-15
大浜 芳	世》3-25	長田 新	文》(4) 9-5
大原実昌禧	文》(5) 9-27	長田(おさだ)→長田(ながた)	
オーバン・バートルダス	大》(2) 4-1	音野 文丸	文》(4) 1-20, (5) 11-16, (6) 2-17, (6) 8-14, (7) 4-10
大嶺 真英	二》6-2	翁長 信全	世》3-24, 3-0
大森 正義	文》(4) 12-17	鬼塚 真臣	文》(5) 8-39, (6) 10-1
大山 朝常	教》13-26	小汀 利得	文》(5) 11-1
大山 春夫	教》1-28	親里 嘉英	教》9-4
大山三津司	文》(5) 7-28		
岡本 恵昌	時》34-1		
岡よしみつ(岡よし充)	文》(4) 3-1, (4) 11-21, (4) 12-8, (5) 9-20, (5) 10-7, (5) 11-41, (5) 12-32, (6) 1-26, (6) 2-10, (6) 8-1		

- 【か】
- 垣花かおり 時》25-1, 28-2, 29-2
垣花 恵昌 時》2-1, 33-1, 34-2, 35-1, 37-2
垣花 実記 時》29-1
垣花 秀武 時》30-1
垣花 良香 時》26-1
文 英吉 大》(1) 6-4, 文》(4) 1-0, (4) 9-32, (5) 1-4, (5) 2-10, (5) 3-11, (5) 8-39, (6) 1-32, (6) 8-27
香島 郁夫 教》5-18
柏 木 生* 文》(6) 8-29
勝 平八 文》(7) 5-4
勝田 守一 教》12-28
勝久 重隆 大》(1) 2-39, (1) 4-3
喝 魔 堂* 宮》1-5, 時》33-1
加藤 武雄 大》(1) 4-14
金井 和子 大》(1) 5-5
金井 直照 文》(6) 1-29
兼島 方直 時》37-2
兼城 賢松 教》13-7, 13-15
兼村 寛俊 教》1-0
叶 保志 文》(4) 2-23, (5) 8-3
川平 昌晃 時》1-1, 17-1, 35-1, 37-2
川平 朝甫 教》15-24
亀井ふみ(亀井フミ、亀井ふみ子、亀井婦美子) 大》(3) 3-13, 文》(4) 1-0, (5) 8-15, (6) 1-40
亀谷 長行 世》3-26
亀川 恵信 宮》1-1, 1-2, 時》1-1, 1-2, 8-1, 30-1, 36-1, 37-2
亀山 良子 文》(7) 4-24
嘉陽 安春 教》11-4
川石酒造之助* 文》(3) 9-34
川上 大輔 時》37-2
川上 武次 宮》1-7
川上 南溟 文》(6) 10-22
川崎 清心 大》(2) 2-3, (2) 4-19, 文》(4) 3-29, (6) 1-0
川崎 拓三 文》(6) 7-53
川水流 清 世》2-13
川畑 一郎 文》(3) 9-22
川畑親(かわばた・ちかし、かわばたちかし) 大》(2) 2-19, (2) 3-5, (3) 3-10, 文》(5) 7-31, (7) 2-14, (7) 3-15, (7) 5-19
川畑 統憲 大》(1) 5-13, (2) 2-21, 文》(5) 8-5
川畑 ヒロ 文》(7) 3-13
川平(かわひら)→川平(かびら)
川元 長龍 文》(4) 3-31, (4) 4-30, (5) 11-28
神崎 西国 文》(5) 6-26, (5) 8-17, (6) 7-31, (6) 10-13
喜久奎吾(喜久けい吾) 大》(1) 5-19, (3) 4-10, 文》(4) 1-8
喜島 範俊 文》(5) 1-24

岸本 謙一	大》(1) 6-18	(7) 1-8, (7) 1-10	
喜舎場永珣	世》3-29, 3-0	金城 和信	教》9-11
喜舎場朝こう	教》9-4	久貝 良明	時》37-2
築(きずき)→築(ちく)		具志堅宗精	宮》1-1,
喜瀬川可精	教》13-15		時》1-1, 7-1, 25-2, 28-2
北島 尚	文》(5) 5-29,	国定 忠治	文》(4) 10-12
(5) 11-39, (6) 8-32		国吉 順質	教》9-26
北原 広志	文》(4) 9-3	久保 俊一	文》(4) 12-4
北見 千秋	文》(4) 2-25	久保 雅也	大》(1) 5-22
北山 汎	文》(5) 7-33, (5) 11-30,	窪 忠和	文》(7) 2-20
(6) 2-8, (6) 8-17, (7) 1-12		窪田 繁	文》(4) 1-1, (4)
甲 東哲	文》(4) 10-29		1-38, (4) 2-6, (5) 4-29, (5) 5-18,
木ノ下三千夫	大》(2) 4-18		(5) 7-31, (5) 12-7
宜保 徳助	教》9-4	窪田 展昌	大》(2) 2-9
喜山 富三	文》(4) 12-16	窪田 義徳	文》(5) 7-33
喜屋武真栄	教》1-6, 3-21, 7-15,	隈元武好(隈元生)	文》(3) 9-16,
13-15, 14-14, 15-1, 16-18			(4) 1-37, (6) 12-24, (7) 3-17
喜屋武盛雄	教》11-14, 12-16	久美島一路(久美島)*→森元誠務	
窮 通 生*	世》1-26		文》(4) 10-28, (4) 11-19, (4) 11-25,
喜友名英文(喜)	世》2-5, 3-39, 4-9,		(4) 12-12, (4) 12-25, (5) 1-23,
4-12, 4-37, 6-41			(5) 2-16, (5) 2-0, (5) 3-20,
清 和次	文》(7) 4-12		(5) 3-33, (5) 4-0, (5) 5-14,
巨水(巨水生)	文》(4) 2-19,		(5) 7-22, (5) 8-13, (5) 9-28,
(4) 3-26, (5) 2-8, (7) 2-12			(5) 10-6, (5) 11-0, (5) 12-13,
桐原 健二	文》(7) 3-13		(5) 12-0, (6) 2-13, (6) 2-0
木脇 敏也	文》(7) 3-13	倉沢 剛	文》(6) 12-27
金城 順亮	二》2-2	くれない太坊*	文》(4) 9-16
金城 正康	世》3-30, 3-0	黒 兎 生*	文》(5) 2-25
金城 英浩	時》2-1, 37-2	黒瀬 ウメ	文》(6) 10-46
金城昌広(昌広)	文》(6) 11-17,	黒田 純一	大》(2) 2-9, 文》(4) 11-20

- 桑野 信 大》(1) 2-35, (1) 3-7,
(1) 4-15, (1) 5-27, (1) 6-13, (2) 2-5
幸田 利宏 文》(6) 10-5
香山 美子 文》(4) 3-4, (4) 8-27,
(4) 9-21, (4) 10-22, (4) 12-25,
(5) 1-21, (5) 3-20, (5) 4-12,
(5) 6-10, (5) 7-6, (5) 8-24,
(5) 9-17, (5) 10-15, (6) 1-17,
(6) 7-4, (6) 10-24, (6) 11-22,
(6) 12-56, (7) 1-12, (7) 4-10
郡山 為業 文》(4) 10-12
小久保清光 文》(5) 1-4
孤 巖* 大》(1) 3-6
小島 大助 世》2-18
孤 舟* 文》(6) 7-38, (6) 8-38,
(6) 11-39, (7) 2-16, (7) 3-12,
(7) 4-13
東風平恵令 時》37-2
古藤 邦彦 世》3-7
古藤 実富 世》3-24, 3-39
寿重憲(言無希憲子) 文》(7) 4-6
小西 重直 大》(2) 2-1
小波蔵 政光 教》5-25, 9-11, 12-5,
ニ》6-4
小林 一三 文》(7) 4-12
小林寂鳥*→島袋俊一 教》11-3,
11-28, ニ》7-2
小林 正秀 文》(4) 1-0, (4) 2-1,
(4) 8-15, (5) 7-0
小堀 甚二 文》(4) 4-22
小松 夫 文》(5) 10-25
五味 保義 文》(5) 3-25
近藤 釧三 文》(6) 10-6
【さ】
佐伯健一郎 文》(7) 3-13
佐伯榕樹(佐伯よう樹) 大》(1) 3-0,
(1) 4-13, 文》(4) 2-9, (4) 3-10,
(6) 10-8, (7) 1-3, (7) 3-14
酒井 勇吉 教》13-15
栄 ナツ 文》(4) 12-12
坂木 玄一 大》(2) 3-19
逆瀬川トキ 文》(4) 12-12, (5) 9-27
坂元 英雄 大》(1) 4-24
相良 惟一 文》(6) 7-6
崎浜 秀主 ニ》6-1
崎浜 秀雄 教》7-13
崎原 和子 世》3-23
先間 政明 文》(4) 12-27
崎山 信邦 世》3-27
崎山 用喬 世》3-5, 3-40, 世》6-41
作島 久雄 文》(5) 2-33
作田 盛次 文》(6) 10-30
サクマ・カナエ 大》(1) 6-2
佐久本嗣善 教》12-5
佐久本つぎのり 教》9-4
迫田俊雄(迫田俊夫) 文》(4) 2-23,
(4) 10-28, (5) 1-39, (5) 3-32
佐藤圭治(佐藤けいじ) 大》(2) 2-13,

- (3) 3-13, 文》(4) 2-5, (4) 3-21,
(4) 11-24, (5) 7-31, (5) 12-15,
(6) 7-14
- 里 きなえ 文》(4) 8-32
里原 慶寿 文》(4) 1-9
実(さね)→実(みのる)
サミュエル・ブルース 大》(2) 1-10
寒川光太郎 文》(5) 4-27
潮平 寛保 世》1-7, 3-22
塩谷 栄二 世》2-23
詩 狂 生* 文》(4) 8-14
重稻稔(重稻みのる) 文》(3) 9-20,
(4) 1-1, (4) 2-6, (4) 8-0, (5) 2-13
重武嘉玖郷 文》(5) 4-11, (6) 12-47
重乃 南月 文》(4) 10-28
重原 源隆 大》(2) 1-7,
文》(4) 7-3, (5) 6-30, (5) 7-14,
(5) 8-16, (5) 11-12, (5) 12-18
重村喜代子 文》(7) 3-14
重村 俊一 文》(4) 1-39
重村 中間 文》(5) 7-22
茂山茂忠(茂忠) 大》(2) 3-18,
(2) 4-5, (3) 3-12, (3) 3-13,
文》(4) 10-28, (5) 2-14, (6) 2-13,
(6) 8-19
静 忠義 文》(3) 9-13
静岡 忠八 文》(5) 4-31
篠原八重子 文》(4) 12-12
シバ喜与博 大》(2) 2-10
柴 つるえ 文》(4) 1-40
- 柴田 敏子 世》2-23
柴田 米三 世》1-7, 3-0
島 跡 尋 人* 文》(3) 9-32, (4) 4-21
島尻勝太郎 宮》1-5
島仲たつ子 世》3-22
島袋 定久 教》4 附録-A
島袋 俊一 教》1-1, 3-0, 9-2,
11-5, 12-5, 12-0, 14-2
島袋 全幸 ニ》7-3, 8-1
島袋 文一 教》5-14, 9-18, 12-1, 13-5
島村 春夫 教》1-14
下地 和夫 時》7-3
下地 恒毅 時》7-3
下地 敏之 宮》1-3, 時》37-2
下地 明増 時》18-2
霜田 静志 教》3-17
城 ゆきこ 教》3-20
ジョン・コバート 教》6-1
ジョン・ティーン・シーハン
大》(1) 3-21
紫 蘭* 文》(5) 10-25
城間広周(城間宏周) 文》(4) 10-28,
(6) 1-12, (6) 1-40
城間 正男 教》3-9
城間 正雄 教》11-29
新里 清篤 教》1-24, 3-0, 7-1,
7-17, 9-11, 11-30, 12-5, 14-18,
15-30
新庄 嘉章 大》(3) 3-2
仁 輝和 文》(4) 12-1

新村 忠則	文》(7) 3-14	(6) 1-20	
新屋敷幸繁	文》(6) 8-17, (6) 10-18		平 玲子 文》(7) 3-15
新屋敷文太郎	教》11-7, 12-12		平良 英一 時》2-1, 37-2
末矢 よし	世》1-27		平良 恵勇 時》13-2
鈴木順一郎	大》(1) 2-8		平良文太郎 世》1-2, 1-7, 2-5,
鈴木 鎮一	文》(6) 11-1	2-23, 3-3, 教》11-6	
砂川 恵敷	時》1-1, 1-2, 33-1		たかし三郎 大》(2) 3-18
砂川 清松	時》28-2		堯 政四 文》(5) 3-21, (5) 11-37
砂川 博一	時》13-2		高 瀬 文》(6) 12-54
砂川フユ(砂川冬子)	時》37-1,		高橋喜美枝 文》(4) 12-12
教》7-35			高原不二夫 教》6-22
砂川 真美	時》37-2		高嶺 方治 世》3-28
砂辺 正孝	二》6-3		高宮 広雄 世》1-3, 1-0, 2-23, 6-41
正 火 路*	文》(6) 1-18		高元武(高元) 大》(1) 6-16,
世嘉良 栄	教》1-12		文》(4) 1-0, (5) 8-39, (5) 8-0,
関口 英雄	時》7-4		(5) 10-0, (6) 1-1, (6) 7-1,
関口 泰	文》(6) 8-9		(6) 7-56, (6) 8-46, (6) 8-0,
瀬木 秀信	文》(5) 8-39,		(6) 10-0, (6) 11-46, (6) 12-42,
(6) 1-11, (6) 11-5			(7) 1-2, (7) 1-0, (7) 2-8, (7) 2-10,
瀬名波長宣	世》2-23		(7) 3-8, (7) 5-1, (7) 5-7
染川 静枝	文》(3) 9-21, (4) 12-12		高良 憲松 時》37-2
			財部つき枝 文》(4) 8-5, (5) 1-4,
			(6) 1-11
			ダグラス・ジ・ハーリング
			文》(6) 1-29
大 海 広*	文》(7) 5-3		竹 寿吉郎 文》(4) 3-30
大学草庵*	大》(1) 6-10		武石 栄一 文》(3) 9-24, (4) 3-33
太 白 山*	教》3-11, 5-6		竹下 みつ 文》(4) 10-15
平 かづ子	大》(1) 5-5		竹下 義徳 文》(4) 3-25
平 巖松	文》(4) 4-9		武田恵喜光 文》(4) 2-10, (5) 1-9,
平 文雄	文》(4) 1-41, (5) 1-2,		

【た】

	(6) 1-33, (6) 7-2, (6) 10-27	多和田真祐	教》13-15
武田志一郎	文》(6) 7-56	俵 信隆	文》(6) 7-54
竹田 俊秀	文》(6) 10-17	チェームス・T・コールマン	
嵩原 恵典	時》1-1, 36-1, 37-2		時》7-1
嵩原 重夫	宮》1-1, 1-2	築 和夫	文》(7) 4-18
竹原 秀忠	大》(3) 2-2, 文》(4) 11-20	築 一義	文》(4) 1-11, (5) 7-2,
竹村 文祥	文》(4) 7-23		(6) 8-29
武山 忠正	文》(6) 8-50	知識 寿優	文》(7) 1-13
立 神*	文》(6) 11-3	知花寺次郎	教》13-15
立美 孝夫	文》(6) 12-17	ドクター・チャップマン	教》11-1
巽 千枝	文》(4) 10-28,	茶目 同人*	文》(5) 9-17
	(6) 2-8, (6) 11-31	潮 狂 生*	教》3-11, 11-16
たつやひろみ	文》(7) 5-14	政 静光	文》(4) 8-0, (5) 7-31
館山 一子	文》(4) 12-11	土橋 兵蔵	大》(3) 3-9
田中耕太郎	大》(2) 1-8	津波古千代	時》7-4
田中 瑞人	大》(3) 2-5	津留 健二	文》(5) 7-34
田中 満代	文》(7) 2-19	H.E. ディフェンダーファー	
田畑 栄達	大》(1) 5-16		教》3-4, 5-4, ニ》6-1
田畑美枝子	文》(6) 7-54	手島 昭子	文》(6) 7-8
田原 初男	文》(5) 10-16	寺師 忠夫	大》(1) 5-20,
玉江 憲三	大》(1) 3-14		文》(5) 1-4, (5) 8-39, (5) 8-0
玉里 恵子	文》(6) 10-46	天一坊子*	文》(5) 3-21
玉城 清人	教》12-26	遠江 寿彦	文》(7) 3-13, (7) 3-14
玉城 泰一	教》3-0, 9-4	桃原 永佑	世》3-4, 3-38, 6-42
玉利源泉(源泉生)	大》(1) 2-1,	桃原 周子	世》3-23
	(1) 3-1, (1) 4-0, (1) 5-1, (1) 6-1,	桃原 用永	世》3-38, 6-19, 6-42
	(2) 1-0, (2) 3-0, (3) 2-0, (3) 3-0	桃原 用知	世》3-25
田向 初枝	大》(3) 3-13,	当間 嗣永	教》12-27
	文》(3) 9-16, (4) 12-16, (5) 1-3	当間 正典	教》16-16
値 直介	(4) 10-28	渡嘉敷真睦	教》1-14

渡嘉敷唯功(林唯功)	教》7-17	中(なか)→中(あたり)
土岐 夢郎	文》(6) 12-45	永 忠倫 文》(5) 9-26
土器屋忠二	文》(4) 7-29	永井 きく 文》(6) 7-54
得*	大》(2) 4-16	中今 信 教》1-18
徳 みよ子	大》(1) 4-25	中江 実孝 文》(4) 1-1, (4) 1-0,
徳岡 辰己	文》(5) 9-18, (6) 7-57	(4) 8-3, (4) 8-0, (5) 1-4, (5) 7-0,
徳山 清長	教》15-4	(5) 12-21, (6) 1-4, (6) 1-25
渡島 繁	文》(5) 6-21	永江のり子 大》(3) 3-13
登島 英	文》(4) 2-31, (5) 12-29	ながおさのぶお 文》(5) 11-5
泊 之 男*	教》11-24, 12-30	長崎 栄一 文》(6) 8-49
富川 盛正	世》3-30	長崎仁(ながさき・ひとし、長崎生)
富田 久則	文》(4) 4-17	大》(1) 6-6, (2) 3-19, (2) 4-12,
富永健次郎	大》(3) 3-7	(3) 3-8, 文》(4) 11-15, (4) 12-23,
富村 真演	世》1-7, 1-23, 2-19, 2-23,	(5) 1-14, (5) 9-26
3-40		仲里 金雄 教》12-5
富村 信元	世》3-23	仲里 誠吉 教》12-5
豊見山恵永	宮》1-8	仲宗根政善 教》6-13, 11-27
友野 旗人	世》5-7	仲田 徳三 教》6-26
友野 義国	大》(2) 3-11	永田 一男 大》(1) 5-24
友利 清俊	時》36-1	永田 洋子 文》(7) 1-13
登山 俊彦	文》(7) 5-7	長田 重徳 文》(5) 8-0, (6) 7-56
豊島 至	大》(1) 3-18	長田 信光 文》(7) 4-18
豊田 稔	文》(4) 1-40	長田(ながた)→長田(おさだ)
豊平 良顕	教》11-4, 11-0, 12-5	中西 悟堂 文》(4) 7-24
豊山 清隆	文》(4) 10-17	永野 善治 大》(2) 4-1
鳥跡 尋人*	文》(4) 1-24, (4) 2-32	仲野 芳恵 世》3-30
	【な】	中原 四 大》(2) 3-9, 文》(4) 12-17,
		(5) 10-1, (6) 1-0, (6) 2-5
		仲松 恵英 時》37-2
直江 光良	大》(2) 1-21	仲松 源光 教》6-9

仲松 洋子	時》7-4	西 邦子	文》(7) 5-12
長嶺 秋夫	教》1-11	西 幸夫*	教》5-18
中村淳(中村じゅん)	教》3-0, 12-5	西 隆保	文》(7) 4-12, (7) 4-18
中村 雅鷹	文》(6) 10-48	西 武臣	大》(1) 6-11, 文》(4) 7-1, (4) 8-0, (5) 9-13
中村安太郎	大》(1) 4-1, (1) 5-8, 文》(6) 7-45	西 忠茂	大》(2) 1-16, (2) 3-17 文》(7) 4-4
名嘉元浪村*	教》5-19	西 経夫	文》(5) 7-5
中谷宇吉郎	文》(5) 5-23	西 ハル子	文》(5) 8-8, (5) 12-30
中谷 譲	世》3-31	西川 泰樹	文》(4) 1-38
中屋 時子	文》(6) 10-45	西口 なつ	文》(5) 3-25, (5) 7-33
中山 興真	教》15-6	西小路 薫子	文》(5) 2-26
中山 久子	文》(6) 8-50, (6) 8-51	西田 功	文》(4) 1-0, (4) 10-24, (6) 7-15
長山 強	文》(4) 2-16, (4) 3-11, (4) 10-10, (6) 1-23	西田 当元	文》(5) 12-1
七門 四郎	文》(3) 9-20, (4) 1-37	西原 雅一	宮》1-1, 時》1-1, 24-2, 34-2, 37-2
波平 勇夫	時》7-4	西原 友弘	時》7-4
波平美穂子	時》7-3	西村 寿子	文》(7) 2-17
成宮 信	世》1-27, 3-33	西銘 順治	教》12-5
南郷 光良	大》(2) 2-9, 文》(5) 2-21, (5) 11-18	西本 良子	文》(4) 10-28
南島 孤児*	文》(5) 2-17	西山 清良	文》(5) 8-39, (5) 9-8, (5) 10-5, (5) 11-36, (6) 1-4, (7) 1-0, (7) 5-24
南島 緑*	文》(6) 8-47	西山天外人*	文》(7) 4-13
南原 繁	文》(4) 4-1, (6) 2-1	西山 白道	大》(1) 6-9, 文》(4) 4-27, (4) 8-17, (5) 1-12, (5) 4-16, (5) 7-22, (6) 1-12
新島 繁	世》4-13	ネルソン	教》16-1
新美 ハル	文》(4) 12-12	野口 彰	教》3-17
新納 由紀	文》(7) 1-13		
和 サヨ	大》(2) 2-19, 文》(4) 12-12, (5) 7-32, (5) 9-19, (6) 12-44		
にこにこ堂主*	文》(6) 12-19		

- 野口 玄富 文》(5) 7-33
- 野口 裁蔵 大》(2) 1-6
- 野島 一彦 文》(5) 7-33, (5) 10-22,
(5) 11-4, (5) 12-20
- 野田 法子 文》(7) 4-12
- 野々焚一子(野々焚)*→嶺倉進
大》(3) 4-9, 文》(4) 3-5, (4) 7-9,
(4) 7-0, (4) 8-9, (4) 8-34,
(4) 10-33, (4) 11-5, (4) 12-12,
(4) 12-22, (5) 1-10, (5) 4-20,
(5) 5-30, (5) 6-23, (5) 11-25,
(6) 1-17, (6) 1-0
- 野村紀世子 文》(6) 7-54, (7) 2-19
- 野村 正弘 教》13-15
- 【は】
- ミス・ヴァージニア・チニー 教》5-5
- 南風原英育 世》3-27
- 白 狼* 文》(4) 9-24
- 玻座真春子 世》2-23, 3-28
- 玻座真里芳 世》3-29, 3-0
- 橋口 愨也 文》(3) 9-31, (4) 7-12
- 橋口富士夫 文》(6) 10-46
- 花城 正量 世》3-24, 6-41
- 花城 節子 世》2-23
- 玻名城長輝 世》1-7, 2-2, 2-23,
3-4, 3-38, 6-42
- 玻名城長正 世》3-40, 5-17, 6-41
- 花野かをる* 世》1-27
- は まだ 大》(1) 2-31
- 浜田 英雄 文》(4) 1-22
- 浜比嘉宗正 教》9-4
- 林 栄寿 文》(4) 1-0, (5) 3-24,
(5) 8-39
- 林 正三 文》(4) 12-10
- 林 忠道 文》(5) 7-32
- 林 久郎 文》(5) 2-24
- 林 洋郎 文》(3) 9-26
- 林 文雄 文》(6) 11-17
- 林 わか子 大》(1) 5-5
- 早瀬 雄造 文》(4) 2-13, (6) 8-34
- 葉山 俊一 文》(6) 11-24, (6) 12-27
- 端山 敏き 教》9-4
- 端山 敏経 教》11-12, 11-0,
12-19, 13-1, 14-12
- 原田 為喜 文》(4) 1-40, (4) 1-0,
(5) 8-39, (6) 1-25, (7) 2-0
- 原田美智子 大》(1) 5-5, 文》(5) 2-18
- 原野奈耶美* 文》(5) 10-28
- 春崎 葵 文》(6) 7-53
- ハワード・ハンドルマン 文》(5) 6-4
- 半嶺 当吉 世》3-40, 5-3, 6-41
- 比嘉 三郎 時》34-2, 37-1
- 東 俊三郎 教》13-0, 15-0
- 比嘉 俊成 教》9-11, 11-13, 12-29
- 比嘉 博 教》13-15
- 比嘉 政雄 世》2-14, 3-40, 6-41
- 光 洋 文》(5) 9-5
- 肥後 吉次 文》(4) 1-39, (4) 1-0,

(5) 1-4, (5) 7-0, (5) 8-38, (6) 1-25,
 (6) 1-40, (6) 1-0, (7) 1-0, (7) 2-0
 肥後 敬 文》(4) 2-33, (6) 11-28,
 (6) 12-52, (7) 4-21, (7) 5-17
 肥後 業昭 大》(1) 5-6, (2) 4-13,
 (3) 2-1, 文》(4) 1-38, (4) 8-0,
 (4) 11-21
 肥後 西生 文》(4) 1-1, (4) 2-6,
 (5) 1-28, (5) 6-6
 久井喜美説 文》(4) 1-1,
 (4) 1-0, (4) 2-6, (5) 8-24,
 (6) 1-32, (7) 1-0
 久野 藤盛 文》(5) 8-31
 久松保五郎 大》(3) 3-13
 平等 愛男* 文》(6) 7-29
 平川 美香 大》(3) 4-3
 平木 二六 文》(4) 9-31
 平瀬 武司 大》(1) 6-8
 平松 勸 大》(2) 2-8
 平山 源宝 文》(5) 1-4, (5) 7-33
 平山 美香 大》(2) 2-15
 ひろた 大》(1) 3-14
 広司やす子(広司泰子) 大》(2) 2-20,
 文》(4) 12-12
 寛山 千露 文》(3) 9-25
 寛山 成男 文》(5) 10-27
 寛山 光洋 文》(6) 7-50, (6) 11-20,
 (7) 1-11, (7) 3-16
 深尾須磨子 大》(1) 4-14
 深佐源蔵(深佐源三) 大》(3) 3-11,
 (3) 4-4, 文》(3) 9-28, (5) 8-0
 福 絹代 文》(7) 4-18
 福 富栄 大》(2) 3-3
 福里 芳夫 時》37-2
 福田 和子 世》6-30
 福原 小径 文》(4) 1-16
 福原史朗(福原史郎) 文》(4) 3-6,
 (4) 4-12, (4) 7-3, (4) 9-13,
 (4) 12-19, (5) 3-14
 福原 武彦 大》(2) 4-0
 福原 富栄 大》(3) 3-8,
 文》(5) 2-31, (5) 11-7, (5) 12-9
 福原麟太郎 文》(5) 8-35, (5) 9-6
 福嶺 紀仁 時》1-1, 37-2
 福山 功 文》(6) 7-23
 福山 慶子 文》(6) 7-52
 藤田 長信 世》3-39, 6-22, 6-42
 藤野 重信 文》(6) 7-41
 藤野 生* 大》(3) 3-12
 藤原 岡恵 大》(3) 4-1, 文》(5) 7-0
 富名腰尚武 教》5-23, 6-15,
 7-25, 11-6
 文沢 義永 文》(4) 11-9
 文沢 天水 文》(3) 9-16
 麓川 甚球 文》(4) 7-10, (5) 5-8
 麓 南枝 文》(6) 8-49
 古タカ山人* 教》11-19
 古谷 綱武 大》(1) 4-29
 平敷 静男 教》13-22
 帆足 計 文》(7) 4-3

- 外間 永律 世》3-40, 4-9, 4-10, 6-41
外間 正栄 教》3-28, 7-19, 7-38, 9-0
保坂 光男 大》(2) 3-4, 文》(4) 4-35
保科敏郎(保科敏朗) 文》(5) 2-16, (5) 5-33
星村 源熊 文》(4) 1-0, (4) 8-0, (5) 8-39
穂積しずか 文》(6) 7-54
堀之内蚊龍 文》(4) 10-1
凡 人* 大》(1) 2-31, (1) 3-13, (1) 3-19, (1) 3-23, (1) 4-23, (2) 2-23
本多 顕彰 大》(2) 2-15
本多重一郎 文》(5) 7-32, (6) 10-5, (7) 5-4
- 【ま】
- マーク・T・オーアー 大》(1) 3-7
前 旭 文》(7) 3-13
真栄城朝教 二》7-3
前田カツ子 文》(6) 7-53
真栄田義見 教》5-7, 9-4, 9-11, 12-5
前田多幸子 世》3-27
前田 龍子 大》(1) 3-10
前浜 博 文》(5) 8-21
牧 繁秀 大》(2) 2-10
牧志つるゑ 世》3-22, 3-0
真喜志八重 教》13-15
牧野 清 世》3-26
牧野 光博 世》4-35
真喜屋恵善 時》37-2
真喜屋実睦 世》3-23
真喜屋実亮 世》3-25
政岡 清歳 文》(4) 4-27
真玉橋長要 世》3-25
町田 宗敬 教》13-15
松岡 一二 文》(6) 8-12
松岡 良彦 文》(4) 2-27, (4) 3-16, (4) 4-32
松尾 源正 文》(5) 7-32
松 玄栄 文》(4) 1-21, (4) 2-28
松下 京子 文》(7) 2-18
松下 成子 文》(7) 5-10
松島 朝興 教》1-0, 9-14
松田 朗 文》(6) 8-28, (6) 10-27
松田 賢 世》1-27
松田 弘 世》3-30, 教》16-9
松田 弘道 大》(1) 3-12, (1) 4-22
松戸利喜夫 文》(4) 1-25
松葉 秀雄 文》(5) 8-38, (5) 9-3, (6) 1-40
松村 吉寛 文》(5) 5-19, (5) 6-31, (5) 7-7
松元 幸也 文》(6) 12-49
松山 一郎 教》11-6, 12-15
松山 一 教》11-15
丸山かおる 文》(4) 9-30

三浦 瑞穂	大》(1) 4-10	(4) 9-0, (4) 12-12, (5) 2-0,
三崎 岳南	大》(2) 1-9, 文》(5) 8-12	(5) 7-24, (5) 7-0, (5) 8-0,
美里 青吉	教》11-23	(5) 9-0, (5) 11-27
三島 清良	文》(5) 9-27	美 原 生* 文》(4) 4-34
三島 義雄	文》(5) 9-28	宮城 久栄 教》1-2, 1-11
三准原 浩	文》(5) 2-17	宮城 信範 世》3-28, 3-0
美寿田 富	大》(2) 4-9	宮城 信勇 世》3-39, 4-2, 6-3,
水野 清	世》4-4	6-8, 6-9, 6-10, 6-41
水原 每美	文》(3) 9-14	宮城 文 世》3-28, 3-0
水間 喜也	文》(3) 9-0, (4) 1-0,	宮城 光雄 世》3-26
	(4) 3-0, (4) 7-0, (4) 8-0, (5) 1-1,	宮城 盛雄 教》6-9, 11-29
	(5) 8-39, (5) 8-0, (7) 4-13	宮国 泰誠 時》37-2
道 子	世》4-34	宮里 国本 教》12-5, 14-6
三井 喜禎	文》(4) 1-17, (4) 3-13	宮里 慶仁 教》7-21
三並 一平	文》(4) 2-29,	宮里 朝吉 教》15-2
	(4) 4-11, (4) 11-10, (5) 1-20	宮当たか子(タカ) 文》(4) 2-30,
南 一樹	文》(5) 6-14	(6) 7-28
南 孫意	世》3-39, 5-33, 6-41	宮原 誠一 文》(5) 2-1, (7) 4-0
南 為宗	世》1-5	宮原 政秋 文》(5) 7-31, (7) 3-19
南 正人	文》(3) 9-25, (4) 11-20	宮平 弘志 教》1-0
嶺倉 進	文》(4) 8-33,	宮山 清 文》(4) 4-21
	(5) 8-0, (6) 10-5	宮良 永益 世》3-28
嶺田 秀子	文》(7) 4-18	宮良 寛好 世》3-26
実 隆三	文》(5) 4-32, (6) 1-12	宮良 賢貞 世》3-39, 4-26, 6-41
三原 明夫	文》(5) 6-1	宮良 信賢 世》3-6
美原 秋穂	文》(6) 12-16	宮良 高司 世》3-27
三原 祥献	大》(1) 5-11,	宮良 長義 世》3-29
	文》(4) 1-1, (4) 1-0, (4) 2-6,	宮良 長詳 世》1-4, 3-27, 3-0
	(4) 2-0, (4) 4-0, (4) 7-20,	宮良 長芳 世》3-29
	(4) 7-0, (4) 8-33, (4) 8-0,	宮良 当育 世》3-23

- 宮良当壮(みやながまさのり) 文》(6) 7-19
 ニ》8-6
- 向井 長男 文》(4) 8-29
- 武者小路実篤 大》(1) 6-15
- 村上 哲也 文》(4) 1-0,
 (4) 7-27, (4) 7-0
- 村田 一夫 大》(3) 3-12
- 村田 鉄也 文》(5) 11-11, (6) 1-35
- 村田 有佳 大》(3) 3-13
- 村山 家国 大》(1) 6-7, (3) 2-8,
 文》(4) 1-1, (4) 1-0, (4) 2-6,
 (4) 8-21, (5) 7-0, (6) 1-12
- 村山 秀雄 世》3-28
- 明治天皇 文》(4) 1-11
- 恵 昭子 大》(1) 4-7, (1) 5-5
- 恵 たつ 文》(4) 1-39
- 目倉痛ン棒生* 文》(5) 1-14
- 最上 忠市 大》(2) 4-11
- 基 泰枝 大》(3) 3-13
- 本村 武史 時》34-2, 35-2, 36-2
- 百田 宗治 大》(1) 4-14,
 (1) 4-26, (2) 1-4
- 森 勇 世》2-9, 3-8
- 森 宇佐美 大》(1) 4-23
- 森 成隆 文》(6) 7-14, (7) 3-18
- 盛 景好 大》(3) 4-0,
 文》(4) 1-12, (4) 1-0, (4) 2-22,
 (4) 9-11, (5) 3-0, (5) 4-9,
 (5) 8-39, (5) 8-0, (5) 9-1,
 (6) 1-25
- 森江 桂造 文》(6) 7-19
- 盛岡 平作 大》(2) 3-19
- 盛島 秀史 大》(1) 3-15, (1) 3-23,
 文》(5) 3-25, (6) 8-18, (7) 1-12
- 森田 鳩眠 世》4-17
- 森田 次郎 世》2-6, 3-39, 6-41
- 森田 豊久 文》(4) 2-27, (5) 9-27
- もり田みな子 文》(6) 8-49
- 森永 用美 世》3-12, 3-40, 6-41
- 盛 みね子 文》(6) 7-54
- 森元誠務(もりもとせいむ、もりも
 と・せいむ) 大》(3) 3-13,
 文》(4) 10-26, (4) 10-28, (4) 11-20,
 (5) 4-13, (5) 7-33, (5) 8-37, (5) 8-0,
 (5) 10-25, (5) 11-30
- 森元 秀夫 文》(5) 4-13, (5) 11-20
- 守屋 徳良 文》(5) 1-18,
 (5) 3-22, (5) 6-22, (5) 7-11
- 【や】
- 八 重 子 世》1-27
- 泰江 禎良 文》(4) 1-7, (4) 1-0,
 (4) 8-20, (4) 8-0, (5) 1-36,
 (7) 2-21
- 泰江 輝雄 文》(7) 4-12, (7) 4-18
- 安田 義保 大》(1) 3-5
- 安村 良旦 二》6-1
- 保元はるの 大》(1) 5-17
- 保元 由紀 文》(3) 9-20

保元 るり	大》(1) 3-16	(4) 4-28, (4) 11-23, (4) 12-12,
安吉 信之	文》(5) 7-9	(5) 2-28, (5) 4-30
山内キヨ子	時》36-1	豊 覚 文》(4) 9-1
山内 繁茂	教》13-21	豊 長義 大》(1) 5-12, (2) 2-17
山内 茂月	教》12-24	指野 享也 文》(3) 9-0, (4) 1-1,
山内ユリ子	時》7-3	(4) 1-43, (4) 1-0, (4) 2-6, (4) 2-0,
山川 宗英	教》9-4	(4) 4-0
山川みどり	文》(6) 7-11, (6) 8-8	指野 秀男 大》(3) 2-7, 文》(4) 8-33
山口 喜慶	文》(6) 2-24	羊大女子* 文》(4) 1-13
山口 重和	教》11-13	与儀 達敏 宮》1-3
山口 正文	文》(5) 7-33	吉岡 為良 文》(5) 11-26
山里 節子	世》4-35	吉川 信 大》(3) 4-3,
山下 文武	文》(4) 9-27, (5) 3-26,	文》(4) 10-23, (5) 1-11, (5) 2-19,
	(5) 5-16, (5) 8-11, (5) 10-21,	(6) 1-41, (6) 8-14, (6) 10-26,
	(6) 2-9, (7) 3-13	(6) 11-20, (6) 12-22
山下 康雄	文》(5) 5-3	嘉川 納豊 大》(1) 2-14, (1) 3-2,
山城 篤男	教》1-2, 1-4, 3-0,	(2) 1-14
	9-1, 11-26, 12-5	芳 喜与博 文》(4) 9-9
山城 葉子	世》4-36, 6-43	吉 亮 文》(6) 2-8
山田 武三	世》3-25, 3-0	芳沢 健有 時》10-1, 11-1, 13-1
山田 敏文	文》(5) 1-26	吉沢 亮 大》(2) 3-17
山田 秀子	文》(7) 4-18	吉田 瑞穂 大》(3) 3-3, 教》11-10
山田 弘	教》15-11	吉田 嘉 文》(4) 1-40
山田 美恵	文》(4) 10-16	吉田 良子 文》(6) 7-48
山野 閑人	文》(6) 7-13	吉野 高善 世》1-3, 1-0, 4-36
山之口 清	文》(5) 4-24, (5) 10-10,	吉松 軍八 文》(5) 1-4
	(6) 1-5	ヨシマツサナエ 大》(1) 3-12
山元 恵一	二》7-4	嘉本 文夫 文》(6) 7-12
屋良 朝苗	教》3-0, 7-3, 14-3	吉本 吉山 世》3-25, 3-0
由比 享	文》(3) 9-32, (4) 1-23,	吉屋 信子 文》(6) 11-4

吉山 武一 文》(4) 7-14, (4) 8-23
 四本 和子 文》(5) 7-10
 与那覇寛長 時》25-1, 37-1
 与那覇春吉 時》1-3, 37-1
 与那覇生* 時》18-1, 24-2, 25-2
 与那覇実 時》35-1
 与那嶺松助 教》3-0, 9-4
 米田 米為 文》(4) 1-0, (5) 8-0,
 (7) 2-22
 饒平名浩太郎 宮》1-6

【ら】

ラ・ロシュフコオ 文》(5) 7-8
 リッジウェイ 文》(5) 7-1
 龍 英勝 大》(1) 5-19,
 (2) 2-12, (2) 3-1, (3) 3-1, (3) 3-13,
 文》(3) 9-5, (4) 9-23, (4) 11-21,
 (5) 3-8, (6) 1-35, (6) 8-30, (6) 11-24,
 (6) 12-25, (6) 12-33, (6) 12-40,
 (7) 5-8
 竜 常信 文》(6) 11-24
 龍 利明 大》(1) 3-15
 龍 豊 文》(4) 4-31, (4) 10-21,
 (5) 4-17, (5) 9-4, (6) 10-25
 レイモンド・C・バーロー
 文》(5) 5-27
 ローレンズ・ウィリアムズ
 教》6-22
 ロバート・マーフィー 文》(6) 7-44

ロマノ・バクート 文》(6) 12-39
 ロリン・C・フオツクス
 文》(5) 4-14

【わ】

和田奄美人* 文》(6) 7-21, (6) 8-13,
 (6) 10-19
 和田 光子 大》(2) 2-11
 渡 宗公 教》15-23
 ワルト・ホイットマン 大》(2) 1-12

【アルファベット】

A 生 世》1-31
 CATHERINE CORLEY ANDERSON
 世》6-9
 C 生 時》10-2
 F・M 生 文》(4) 3-31
 G・T 生 教》3-26
 H 教》13-0, 15-0
 H・N 生 大》(1) 3-14, (1) 4-12
 HARRY DEAN 世》6-8
 K・S 生 教》3-14
 K・K 文》(4) 10-9
 K 生 文》(4) 3-27
 M・T 生 大》(1) 2-28
 M 生 大》(1) 3-18
 N・S 教》5-27
 N・S 生 大》(1) 2-29

Nagata	大》(1) 3-15
N A 生	文》(4) 11-18
R・B・マクローア	時》24-1
S・A 生	大》(2) 4-13
S・N 生	文》(4) 10-16
S・R	文》(4) 3-33
S・Y 生	大》(1) 2-28
S O S 生	大》(1) 3-15
S T 生	世》2-22
T	大》(2) 3-2, (3) 4-0
T・H 生	大》(1) 3-15
T・I 生	大》(3) 2-6
T・K 生	大》(1) 2-28, 2-33
THELMA JOHNSTON	世》6-3
X Y Z	文》(4) 11-22
X Y Z 生	世》4-37
Y・I 生	大》(1) 2-28

[事項索引]

項目 誌》(巻)号数=通号-始頁

【あ】

芦花部小学校 文》(6)7-31, (6)7-34
 奄美育英会 文》(5)4-35
 奄美大島 大》(1)5-24, (1)6-1,
 (1)6-16, (3)4-8, 文》(3)9-1,
 (4)1-7, (4)1-23, (4)2-33,
 (4)4-27, (4)7-3, (4)7-20,
 (5)5-8, (5)6-12, (5)7-2,
 (5)7-5, (5)8-13, (5)9-29,
 (6)1-29, (6)8-17, (6)8-32,
 (6)8-37, (7)5-8
 奄美教育資材購買組合 文》(5)4-23
 奄美小学校 文》(3)9-32,
 (5)1-18, (6)8-35
 奄美博物館 文》(5)7-14, (5)10-20
 アメリカ 文》(4)7-11
 アメリカ教育 大》(2)4-1, (3)3-9,
 文》(3)9-20, (5)2-13, 時》7-2,
 教》1-12, 6-3, 9-18
 育英会 時》34-1, 35-1, 36-1
 育英事業 時》35-1
 池地小学校 大》(2)4-0
 石垣小学校 世》4-25
 石垣中学校 世》5-13
 委任統治 文》(5)4-8
 今里小中学校 文》(6)10-5

西表 世》2-9, 2-29, 3-8, 3-17
 慰霊塔 時》24-2, 30-1
 運動会 文》(5)12-29,
 時》25-2, 26-2, 教》3-21
 英語 教》5-25, 世》5-36
 岡前小学校 文》(4)2-19
 沖縄 文》(4)4-36, (5)3-15,
 (6)12-16
 沖縄教育後援連合会 教》1-24,
 15-32, 15-37, 二》6-1, 6-3
 沖縄教育連合会 教》15-34, 二》7-1
 沖縄歴史 世》1-23, 2-19
 沖永良部 文》(4)2-10, (5)2-10,
 (5)3-11
 音楽 大》(1)4-3,
 文》(3)9-13, (4)2-13, 宮》1-8,
 世》4-10, 教》14-14
 音楽演奏会 文》(6)10-27
 音楽教育 文》(6)8-34
 恩給 文》(6)7-2,
 (6)11-46, (7)1-4, (7)2-1, (7)4-1,
 時》2-2, 30-1, 33-2

【か】

回顧 文》(6)12-44, (6)12-45,
 (6)12-47
 ガイダンス 文》(4)9-17
 開南初等学校 二》6-2
 カイロ宣言 文》(5)8-9

科学	世》2-14	(5) 3-0, (5) 5-2, (5) 6-0, (5) 9-0,
科学教育	教》7-3	(5) 10-0, (5) 11-0, (5) 12-0,
学芸会	世》2-22, 教》1-18	(6) 1-0, (6) 2-0, (6) 7-1, (6) 8-0,
学事奨励	時》37-2	(6) 10-0, (6) 12-0, (7) 2-0,
学習時間	文》(4) 2-19	(7) 3-0, 世》1-2, 2-2, 3-2,
学習指導	文》(6) 12-27, 世》1-17	4-2, 教》5-1, 7-1, 9-0, 13-0,
学籍簿	大》(3) 4-15, 世》4-22	15-0
学徒援護会	ニ》2-3	喜界島 文》(4) 1-17, (4) 3-13,
学力テスト	教》13-27	(6) 8-37
家族制度	文》(6) 11-5	喜界第二中学校 文》(4) 4-27
学級経営	文》(5) 6-16	機関日誌 大》(3) 4-21, 宮》1-8,
学校五日制	文》(5) 7-24, (5) 7-28	教》1-13, 3-21, 5-17, 6-17
学校運営・学校経営	大》(1) 5-16,	きけわだつみの声 時》36-2
	(2) 1-21, 文》(5) 4-14, 世》4-32	義務教育費国庫負担 文》(7) 2-7
	教》13-0, 14-6, 15-6, 15-0	給食 時》35-2
学校合併	時》33-1	教育委員会 大》(3) 4-22,
学校劇・劇	文》(5) 3-17,	文》(4) 3-24, (6) 7-6, (6) 7-9,
	(6) 2-24, 教》9-7, 9-10	(6) 7-12, (6) 7-13, (6) 7-14,
学校建築	時》11-1	(6) 11-9, (7) 2-16, (7) 4-13,
学校図書館	時》13-2	時》36-2, 世》5-5, 教》9-11,
かなづかい	教》5-19	教育改革 文》(4) 4-1
鐘の鳴る丘	時》34-2	教育課程 大》(1) 4-8, 教》7-12
漢字	大》(1) 6-6, (1) 6-8	教育基本法 大》(1) 6-17, 教》7-10
巻頭言	大》(1) 2-1, (1) 3-1,	教育研究会 教》14-14
	(1) 4-0, (1) 5-1, (1) 6-1, (2) 1-0,	教育史 文》(4) 9-27
	(2) 2-0, (2) 3-0, (2) 4-0, (3) 2-0,	教育実習 文》(7) 5-10
	(3) 3-0, (3) 4-0, 文》(3) 9-0,	教育者の声 大》(1) 3-14, (1) 3-18
	(4) 1-0, (4) 2-0, (4) 3-0, (4) 4-0,	教育測定 文》(4) 1-8
	(4) 7-0, (4) 8-0, (4) 9-0, (4) 10-0,	教育調査 教》12-16
	(4) 11-0, (4) 12-0, (5) 1-0, (5) 2-0,	教育統計 文》(3) 9-20, (4) 10-0,

- 教 》 1-17, 7-22, 7-27, 7-35, 9-21,
13-0, 15-29, 二》8-8
- 教育評価 文》(6) 10-10, (6) 10-13,
二》2-2
- 教育法 文》(6) 7-41
- 教員給与 大》(1) 3-26, (3) 4-11,
文》(3) 9-20, (4) 2-21, (4) 3-31,
(5) 10-5, (5) 10-24, (7) 3-19,
(7) 3-22, (7) 4-4, 時》2-2, 10-2,
教》16-0, 二》2-1, 8-8
- 教員組合 大》(2) 3-3, (3) 3-9
- 教員検定試験 時》25-2, 26-2, 30-2
- 教員住宅 時》30-2
- 教員生活 大》(2) 4-9, (2) 4-13,
文》(4) 1-20
- 教員大会 文》(5) 2-28, (5) 3-28
- 教科書 宮》1-8,
世》4-13, 6-34, 教》6-3, 二》2-3
- 共済組合 文》(7) 1-7, (7) 3-20,
(7) 4-20, 教》16-0, 二》2-2, 2-3,
7-3
- 教師の倫理綱領 文》(7) 1-0
- 教師論 大》(1) 2-31, (1) 4-11,
文》(5) 2-1, (5) 3-1, (5) 6-22,
(5) 7-11, (5) 7-23, (5) 11-28,
(5) 11-36, (5) 12-15, (6) 11-24,
(6) 12-47, (7) 2-2, (7) 2-0, (7) 3-18,
(7) 4-3, (7) 5-12, 教》15-4
- 教壇 宮》1-5
- 郷土研究 文》(6) 2-9
- 久志中学校 二》7-2
- 城辺小学校 時》2-2
- 久高島 教》12-26
- 組合運動 文》(4) 2-32, (4) 10-1,
(5) 7-0, (6) 7-1, (6) 8-46, (6) 12-42,
(7) 3-16, (7) 4-4, (7) 5-4, (7) 5-6
- 久米島 教》11-15
- 軍作業 教》13-11, 13-15
- 経済 文》(3) 9-1
- 結核 時》28-2
- 研究教員・派遣教員 文》(6) 7-59,
二》2-1
- 言語教育 二》8-6
- 後援会 大》(2) 4-0, 二》6-2
- 後援会連合会 時》2-2
- 校歌 文》(4) 4-27, (4) 7-3,
(4) 9-9, 世》4-9, 5-13
- 校舎 文》(7) 2-17, (7) 2-21, (7) 3-20,
(7) 4-14, 世》3-5, 二》6-2
- 講習会 文》(4) 7-1, (4) 7-16
- 厚生協会 文》(5) 8-21
- 校長会 教》14-3
- 校内研究会 文》(6) 8-35
- 講和・講和条約 文》(4) 2-1,
(5) 9-11, (5) 10-5, (5) 10-10,
(5) 11-1, (6) 7-45, 時》2-1, 8-1,
10-1, 18-1, 25-1, 29-1, 二》7-1
- 国語・国語問題 大》(2) 3-4,
(3) 2-7, (3) 3-3, 文》(4) 2-16,
(4) 3-6, (4) 3-11, (4) 4-12, (4) 10-10,

- (5) 2-31, (5) 11-7, (5) 12-9, (6) 1-23,
(6) 8-19, (6) 12-33, 世》4-4, 6-34,
教》5-10, 5-19, 11-4, 11-10
- 古典文学 世》5-15
言葉 大》(1) 5-20, (2) 3-1,
文》(3) 9-5
コメニウス 大》(3) 3-6
- 【さ】
- 座談会 文》(4) 1-1, (4) 2-6,
(4) 12-12, (5) 1-4, 世》1-7, 2-23,
教》3-17, 9-4, 9-11, 12-5, 13-15
算数 宮》1-7
視学 文》(2) 2-9, (2) 3-17
視察(奄美) 文》(7) 2-15, (7) 4-20
視察(アメリカ) 文》(3) 9-11,
(5) 1-28, (5) 6-6, 時》34-2, 37-1,
教》12-1, 13-5, 14-18
視察(沖縄) 文》(4) 11-15,
(4) 12-23, (5) 6-1, 時》17-2, 18-2,
教》1-6, 16-18, ニ》7-2
視察(十島) 文》(4) 8-1, (4) 12-17
視察(日本) 文》(4) 7-16,
(6) 11-28, (6) 11-34, (7) 5-1,
時》18-1, 18-2, 24-2, 25-2,
教》12-5, ニ》2-3, 7-3, 8-1, 8-8
視察(宮古) 時》11-2, 34-2
自治活動 教》15-2
視聴覚教育 文》(6) 2-5, (6) 12-57,
- ニ》8-4
実業高等学校 大》(1) 2-13, (1) 4-3,
(1) 4-0, (1) 5-1
実験学校 教》16-21
実践記録 大》(2) 4-19, (3) 2-4,
(3) 2-7, 文》(4) 4-17, (6) 7-23,
(6) 8-19
児童憲章 文》(6) 12-10
指導主事 教》15-1
児童文芸 大》(1) 3-10,
(1) 3-12, (1) 4-10, (1) 4-21,
(1) 4-24, (1) 4-25, (1) 5-12,
(1) 5-22, (1) 6-8, (2) 4-16,
文》(4) 2-16, (6) 7-52, (6) 7-53,
(6) 7-54, (6) 8-49, (6) 8-50,
(6) 8-51, (7) 1-13, (7) 3-13,
(7) 4-12, (7) 4-18, 時》7-3,
世》4-35
事務局だより 文》(4) 7-35,
(4) 8-31, (4) 9-33, (4) 10-32
下地小学校 時》35-2
下地中学校 時》1-4
社会科 大》(2) 3-9, (2) 3-11,
(2) 4-13, (3) 2-1, 文》(5) 6-26,
(6) 12-27, 世》2-16, 4-26, 5-18,
教》3-9, 9-26, 13-0, 15-11, 16-9,
16-16
修身 文》(5) 8-35, (5) 9-6, (5) 9-19
柔道 文》(3) 9-34
首里中学校 時》17-2

- 巡回映画 時》35-2
- 城南初等学校 教》15-11
- 少年犯罪 文》(6) 12-1, 時》11-2
- 女教師 大》(1) 2-28,
(1) 3-14, 文》(4) 2-30, (4) 12-12,
(6) 8-18, (7) 2-14
- 職業安定所 文》(5) 11-22, (5) 12-24
- 職業教育 文》(5) 11-18,
教》9-18, 16-1
- 食糧配給 文》(3) 9-35, (4) 2-24
- 女子教育 大》(3) 2-4
- 書道 文》(3) 9-16
- 白保分校(大浜中学) 世》4-32
- 新教育 大》(1) 2-8, (2) 1-1,
(3) 4-10, 文》(4) 1-8, (4) 1-14,
(4) 12-10, 時》10-2, 11-2, 13-2,
世》6-22
- 新教育建設目標 大》(1) 3-19
- 人口 文》(4) 9-0
- 人事・人事異動 大》(3) 4-12,
(3) 4-14, 文》(4) 11-20, (4) 12-16,
(6) 1-28, 時》1-3, 4-2, 8-2, 10-2,
11-2, 25-2, 26-2, 34-2, 世》3-38,
5-14, 5-39, 6-41
- 新制大学 世》3-11, 5-13
- 新制中学校 大》(2) 3-0
- 信託統治 文》(5) 8-1, (5) 12-1
- 数学 大》(2) 3-5, (2) 3-13,
文》(4) 7-14, (4) 8-23, (5) 7-9,
教》3-6, 5-8
- 生活改善運動 時》18-2
- 性教育 文》(4) 11-3
- 政治 世》1-7
- 青少年臨時厚生協會 時》4-2, 17-1
- 成人教育 文》(5) 1-24, (5) 4-16,
(5) 5-29, (5) 7-2, (5) 7-20
- 成人教育主事 文》(4) 8-18
- 生徒会 文》(4) 8-19
- 青年団 大》(1) 3-16
- 瀬戸内教育会 文》(4) 11-23
- 全国奄美連合総本部 文》(5) 9-11
- 戦争体験 文》(4) 1-25
- 創刊(発刊) 宮》1-1, 1-2, 1-3,
時》1-1, 世》1-3, 1-4, 1-0, 教》1-1,
1-2
- 【た】
- 体育 大》(1) 2-14, (1)
3-2, (1) 5-25, (2) 1-14, 文》(6)
12-48, (7) 4-21, (7) 5-17, 教》
14-14
- 体罰 教》1-28, 3-11
- 高良初等学校 二》6-2
- 単位制 教》11-7, 12-12
- 知事告辞 大》(1) 3-18
- 北谷中等学校 教》15-2
- 朝鮮・朝鮮問題 文》(4) 8-15,
(4) 10-1, (5) 9-3, (6) 12-39, 教》1-3
- 展覧会 文》(3) 9-4

東京裁判	世》5-19	農業教育	教》13-21
道德教育	文》(6) 10-31, 教》16-9	農場経営	大》(1) 2-20
童話	教》15-24	能力別学習	大》(2) 2-3
徳之島	大》(1) 4-20, 文》(4) 4-27, (5) 2-10, (5) 3-11, (5) 3-26, (5) 4-32, (5) 11-37, (5) 11-39	ノロ	文》(6) 10-18
			【は】
徳之島教育会	大》(1) 3-22	ハワイ大学	教》5-14
十島	文》(4) 8-1, (4) 12-17	久松小学校	時》35-2
登野城小学校	世》5-12, 5-14, 5-39	久松中学校	時》3-2, 4-2
		美術	大》(1) 5-12, 文》(7) 5-21
	【な】	ひめゆり	世》2-13
名瀬高校	文》(5) 8-5	平良第一小学校	時》26-2
名瀬小学校	文》(5) 2-21	婦人会	文》(6) 1-33
名瀬測候所	文》(5) 12-27	復帰・復帰運動	文》(5) 8-25, (5) 8-31, (5) 8-37, (5) 9-1, (5) 9-11, (5) 10-10, (5) 10-18, (6) 7-44, (6) 7-45, (6) 8-5, (6) 8-6, (6) 10-39, (6) 10-44, (6) 11-38, (7) 1-3, (7) 1-16, (7) 2-8, (7) 3-13
名瀬短歌会	文》(4) 1-19	復興	文》(3) 9-16, (5) 5-27
名瀬中学校	大》(3) 4-15	父母講座	世》3-14
西阿室小学校	文》(4) 11-23	文学	教》5-10
日教組	文》(6) 8-6, (6) 11-9, (7) 1-0, (7) 2-7, (7) 2-8, (7) 2-15, (7) 3-1, 時》18-2	文教学校	教》3-11
日本	文》(6) 8-9	文教部	大》(1) 5-23, 文》(4) 2-21, (4) 7-35, (5) 6-34, (5) 9-26, (5) 12-23, (6) 8-37, 世》1-32
日本便り	時》2-1		
日本の教育	大》(3) 3-11, (3) 4-4, 文》(3) 9-28, (4) 4-1, 時》35-1, 教》7-12, 7-13	文芸	大》(1) 2-19, (1) 2-28,
日本復帰全国奄美同胞総決起大会	文》(6) 7-45		
日本文学	世》5-3		

(1) 2-31, (1) 3-11, (1) 3-13,
(1) 3-15, (1) 3-19, (1) 3-23,
(1) 3-0, (1) 4-7, (1) 4-13,
(1) 4-14, (1) 4-23, (1) 5-5,
(1) 5-17, (1) 5-19, (1) 6-7,
(1) 6-21, (1) 6-0, (2) 1-9,
(2) 1-12, (2) 1-19, (2) 2-2,
(2) 2-12, (2) 2-15, (2) 2-23,
(2) 4-8, (2) 4-18, (3) 2-5,
(3) 2-8, (3) 3-10, (3) 3-12,
(3) 3-13, (3) 4-3, (3) 4-20,
文》(3) 9-16, (3) 9-19, (3) 9-20,
(3) 9-25, (3) 9-26, (3) 9-31,
(4) 1-6, (4) 1-11, (4) 1-13,
(4) 1-19, (4) 1-37, (4) 1-41,
(4) 2-5, (4) 2-9, (4) 2-23,
(4) 2-27, (4) 2-29, (4) 2-34,
(4) 3-5, (4) 3-10, (4) 3-30,
(4) 3-33, (4) 3-34, (4) 4-11,
(4) 4-21, (4) 4-27, (4) 4-32,
(4) 7-9, (4) 7-12, (4) 8-9,
(4) 8-14, (4) 8-27, (4) 9-16,
(4) 9-17, (4) 9-30, (4) 9-31,
(4) 10-28, (4) 11-5, (4) 11-10,
(4) 11-19, (4) 11-22, (4) 11-24,
(4) 12-11, (4) 12-19, (4) 12-20,
(4) 12-22, (4) 12-25, (4) 12-27,
(5) 1-3, (5) 1-10, (5) 1-23,
(5) 1-39, (5) 2-16, (5) 2-18,
(5) 2-26, (5) 2-33, (5) 3-14,

(5) 3-20, (5) 3-21, (5) 3-25,
(5) 3-32, (5) 4-13, (5) 4-17,
(5) 4-20, (5) 4-31, (5) 4-34,
(5) 5-14, (5) 5-30, (5) 5-33,
(5) 6-14, (5) 6-23, (5) 6-30,
(5) 7-6, (5) 7-10, (5) 7-22,
(5) 7-33, (5) 8-3, (5) 8-8,
(5) 8-13, (5) 8-16, (5) 8-24,
(5) 9-12, (5) 9-17, (5) 9-25,
(5) 9-28, (5) 10-6, (5) 10-15,
(5) 10-25, (5) 11-4, (5) 11-11,
(5) 11-20, (5) 11-25, (5) 11-30,
(5) 12-13, (5) 12-30, (6) 1-35,
(6) 1-41, (6) 2-8, (6) 2-13,
(6) 2-24, (6) 7-4, (6) 7-8,
(6) 7-11, (6) 7-21, (6) 7-30,
(6) 7-38, (6) 7-39, (6) 7-48,
(6) 7-50, (6) 7-54, (6) 8-2,
(6) 8-8, (6) 8-13, (6) 8-14,
(6) 8-17, (6) 8-18, (6) 8-28,
(6) 8-29, (6) 8-47, (6) 10-19,
(6) 10-24, (6) 10-25, (6) 10-26,
(6) 10-30, (6) 10-38, (6) 11-3,
(6) 11-18, (6) 11-20, (6) 11-22,
(6) 11-31, (6) 11-39, (6) 12-17,
(6) 12-24, (6) 12-39, (6) 12-40,
(6) 12-41, (6) 12-56, (6) 12-58,
(7) 1-3, (7) 1-10, (7) 1-12,
(7) 2-13, (7) 2-14, (7) 3-12,
(7) 3-14, (7) 3-15, (7) 3-17,

(7) 4-6, (7) 4-10, (7) 5-3,
 (7) 5-19, 時》25-1, 28-2, 29-2,
 34-2, 35-2, 36-2, 世》1-25, 1-27,
 1-28, 2-5, 2-13, 2-18, 3-12,
 3-30, 3-31, 3-33, 3-34, 4-12,
 4-19, 4-34, 5-17, 教》3-20, 5-18,
 5 附録-1, 6-19, 7-20, 7-21,
 9-14, 11-3, 11-6, 11-15, 11-28,
 12-15, 12-29, 12-30

米琉親善 時》7-1, 7-3, 7-4,
 教》11-3

僻地 文》(6) 7-34, (6) 12-22

ペスタロッチ 世》2-6

編集後記 大》(1) 3-0, (1) 4-0,
 (1) 5-31, (1) 6-22, (2) 1-21,
 (2) 2-0, (2) 3-20, (2) 4-0,
 (3) 2-0, (3) 3-0, (3) 4-0,
 文》(3) 9-0, (4) 1-43, (4) 2-0,
 (4) 3-0, (4) 4-0, (4) 8-34,
 (4) 10-33, (4) 11-25, (4) 12-0,
 (5) 2-0, (5) 3-33, (5) 4-0,
 (5) 12-35, (6) 2-0, (6) 7-59,
 (6) 8-51, (6) 10-49, (6) 11-47,
 (6) 12-0, (7) 3-0, (7) 5-27,
 世》1-32, 2-34, 3-41, 4-37,
 教》1-28, 3-28, 4 附録-1, 5-28,
 6-28, 7-38, 9-0, 11-0, 12-0,
 13-0, 14-19, 15-41, 16-0

方言 文》(6) 12-33

北部大島教員大会 文》(5) 2-0

ポツダム宣言 文》(5) 8-8

【ま】

三方村立小宿青年学校 大》(1) 2-20

南中学校 時》3-2

宮古教育会 時》2-2, 3-2

宮古婦人連合会 時》3-2, 17-2, 18-2

宮古報知新聞 時》28-2

宮良小学校 世》4-9

民主化 大》(3) 2-2

民主教育 宮》1-6

民謡 大》(1) 6-4, 文》(6) 12-40

迷信 大》(2) 2-13, 文》(4) 9-14

文部省 大》(1) 6-19, 文》(4) 10-3

【や】

八重山教育会 世》2-28, 4-3, 4-38

八重山農林高等学校 世》5-17

野球 文》(3) 9-32

遊戯 文》(3) 9-21

ユネスコ 文》(4) 11-14, (7) 2-20

幼児教育 文》(6) 11-1

幼稚園 文》(5) 8-17

与那国島 世》5-7

読谷高校 二》6-2

与論小学校 文》(4) 9-9

与論島 文》(4) 3-25

【ら】

理科 大》(1) 2-24, (2) 4-19,
教》6-10, 7-3, 7-29
留学(アメリカ) 文》(4) 11-9,
(4) 12-8, (5) 9-20, (5) 10-7,
(5) 11-41, 時》7-2, 11-2, 24-2,
29-2, 教》11-12, 12-19, 13-1,
14-12
留学(日本) 文》(4) 9-1,
時》13-2, 28-2, 30-2, 教》5-0
琉球情報教育委員会 時》35-2
琉球諸語 文》(4) 9-23
琉球政府 文》(5) 12-21,
(5) 12-23, (6) 1-5
琉球大学 時》2-2, 3-1, 4-1,
世》3-13, 教》11-1
琉球大学大島分校 文》(6) 8-42
歴史 宮》1-5,
教》5-23, 6-15, 7-25
劣等児 大》(2) 2-11, 文》(4) 3-29
ローマ字 文》(5) 2-31, (5) 11-7,
(5) 12-9
六三制 大》(1) 3-7, (1) 4-9, 文》
(5) 5-23, 世》1-18, 3-4, 3-5, 3-6,
3-0, 教》1-4

【わ】

湾小学校 文》(3) 9-29

【アルファベット】

IFEL 教》14-6
PTA 大》(2) 3-2,
文》(3) 9-28, (3) 9-29, (4) 4-21,
時》3-1, 4-2, 7-2, 世》3-14,
二》2-2, 6-1, 6-2, 6-3, 6-4

一卷二号

一九四七年二月発行（*推定）

卷頭言 新発足の精神—官製より民主的在り

方へ 玉利 源泉

教育と民主革命 泉 芳朗

新教育雑観 奄美高等女学校長 鈴木順一郎

「滴硯」青校は実業学校へ

奄美体育建設への一指針（つづき） 嘉川 納豊

「詩」愛はすべてだ 大勝 清志

農場経営の実際 三方村立小宿青年学校

そてつ葉

月食の観察 奄美高女四ノ竹 興 ふじ

校門

編輯だより

〔声〕

女教師の声 M・T生/T・K生/T・K生

28

姿

〔詩〕学び舎の児ら

S・Y 生 28

〔声〕

教育断片

N・S 生 29

孤巖

教育界ニュース

30

〔詩〕

焼跡に

凡人 31

教師生活

はまだ 31

DEMOCRACY（岩波哲学辞典）

32

討議法について

T・K 生 33

大島郡に於ける水稻の研究

桑野 信 35

本郡ニ於ケル体位向上ニ就テノ一考察

勝久 重隆 39

一卷三号

一九四七年三月 編修・発行

〔短歌〕近作

佐伯 榕樹

卷頭言 新発足の精神（つづき）

玉利 源泉 1

奄美体育建設への一指針(つづき)	嘉川 納豊	2		
教育の方途	安田 義保	5		
断想	孤 巖	6		
大島郡に於ける水稻の研究(つづき)	桑野 信	7		
〔談話〕新学制に期待―親しまれる学校へ発足 (『南日本新聞』より抜粋)				
民間情報局教育部長 マーク・T・オーア(談話)		7		
〔綴方即席会知事賞作品〕				
新しい村	笠利青校研究科 前田 龍子	10		
〔詩〕巢立つ児に	笠利 おく・ちか	11		
教育界ニュース		11		
〔綴方即席会知事賞作品〕				
思ひ海	名瀬校六年 松田 弘道	12		
アソビ	花徳校初一 ヨシマツサナエ	12		
先生	古仁屋校初六男 稲田 恒	13		
〔和歌〕転校児へ	名瀬校 凡 人	13		
〔教育者の声〕断片	大中 玉江 憲三	14		
〔女教師の声〕	ひろた H・N 生	14		
〔教育者の声〕				
教育断片	大中 龍 利明	15		
(チルチルとミチル)	N a g a t a	15		
〔女教師の声〕	S O S 生 T・H 生	15		
〔短歌〕	盛島 秀史	15		
〔教育者の声〕青年団員としての私				
小野津国民学校 保元 るり		16		
北部南西諸島全青年学校卒業式知事告辞				
臨時北部南西諸島知事 豊島 至		18		
〔教育者の声 その二〕				
(雨後の筍)	大中 M 生	18		
〔短歌〕				
別れ	赤徳校 栄 子	19		
(瞳に涙)	名瀬校 凡 人	19		
〔編修室だより〕昭和二二年度大島郡 新教育 建設目標				
大島郡の先生方及若い婦人の方々へ				
軍政官陸軍中尉 ジョン・テイー・シーハン		19		
〔短歌〕				
児童と共に	名瀬校 凡 人	23		

雑詠	崎原校 盛原 秀夫	23	第六部 音楽会	赤 地	3
給与改善案	徳之島教育会	26	「短歌」燃ゆるいのち	岩間 正男	7
「表」			「詩」口答	奄美高女四ノ松 恵 昭子	7
苗代ニ於ケル生育調査		27	「表」新制教科目及時間数		8
本田ニ於ケル水稻生育調査		28	新学制の教科課程決まる(『朝日新聞』より転載)		9
自一八九八年(明治三二年)至一九四六年(昭和二年)四八ヶ年間ニ於ケル月日毎ノ暴風回数		29	自己暗示と空気	遠藤 隆吉	10
大島郡ニ襲来ノ暴風状況		30	「短歌」初五	三浦 瑞穂	10
編修後記	碓 山		「教育随想」		
(DEMOCRACY)(『朝日新聞』より)			教師の目附	荒田 兼良	11
一卷四号			断片	H・N 生	12
一九四七年四月編輯・発行			勅題「曙」預選歌評釈		
卷頭言 実業高等学校の新発足を祝す	玉利 源泉		知名実業高等学校教頭	佐伯 榕樹	13
逆立ちせる教育観	中村安太郎	1	今日の教育は如何にあるべきか(『新児童文化』より抜粋)	加藤 武雄	14
「教育随想」断想	大勝 清	2	「詩」頌 先生たちに	深尾須磨子	14
実業学校の将来性	勝久 重隆	3	限りない前進	百田 宗治	14
			大島郡に於ける水稻の研究(つづき)		
			徳之島教育研究会	桑野 信	15
			「文芸」		20

断想 青山師範出身 大井 憲吉

よもやま考 花徳校訓導 大学 草庵

〔研究〕

ほんとに読めるように 西 武臣

或る日の討議 名瀬校訓導 大勝 清志

大島郡に於ける水稻の研究(承前) 桑野 信

自然・神・悪魔 武者小路実篤

最近の教育会 古仁屋町の場合

政庁文化課課長 高元 武

教育会便り

教育基本法

教養の跛行―迷信と科学について(『婦人朝

日』) 岸本 謙一

教育心理(上)―人間の成長と発達 文 部 省

〔詩〕落ち葉の季節 石井 美久

編集後記 奥

教育大島一二月号予告

二巻一号

一九四八年一月一七日印刷

一九四八年一月二〇日発行

巻頭言 待望の新春を迎う 玉利 源泉

新教育を感じるままに

政庁文教部長 大重 栄寛

年頭所感 大島中学校長 奥田 愛正

ドストエフスキーの警告 詩人 百田 宗治

〔教育随想〕

新しい人間像 茶花校訓導 野口 裁蔵

楽しい学園の復活 住用校訓導 屋宮 為市

愛と悩 西日本新聞社通信部主任 重原 源隆

教育の再建

法学博士、参議院議員 田中耕太郎

〔短歌〕朝の日 赤徳校訓導 三崎 岳南

教育と民主主義

ウイスクンシン大学出身 サミュエル・ブルース

〔詩〕自由 米国詩人 ワルト・ホイットマン

教育界寸描 編集部 奥

奄美体育大会後記 体育主事 嘉川 納豊 14
豆知識 14

人間性を取戻せ―貧しき私のメモ

宇宿校訓導 西 忠茂 16

〔詩〕胸像 泉 芳朗 19

〔海外トピック〕十倍の原子爆弾 20

学校委員制度の設置―私の意見 伊仙校長 直江 光良 21

編集後記 奥 親雄 21

原稿募集 連合教育会教育大島編集部

一九四八年度こよみ 1948年度こよみ

二巻二号

二巻二号

一九四八年三月一六日印刷

一九四八年三月一八日発行

巻頭言 教育の援護

自学の真理 文学博士 小西 重直 1

〔詩〕夜の海(旧作) 泉 芳朗 2

能力別学習の実せん 奄美校訓導 川崎 清心 3

大島郡に於ける水稻の研究(承前) 桑野 信 5

あなたが視学であつたら教育民主化にいか
なる事に先づ手をうちたいか(ハガキ回答)

平松勸／窪田展昌／黒田純一／南郷光良

シバ喜与博／植田勇蔵／牧繁秀 9

劣等児学級の知能 奄美校訓導 和田 光子 11

〔短歌〕あやまるの岬 龍 英勝 12

迷信と科学 戸田校訓導 佐藤けいじ 13

教育における民主主義(『朝日新聞』より転載) 本多 顕彰 15

〔詩〕ふるさと 平山 美香 15

〔博覧会文教館展覧部作品入選者発表〕

豊長義／川畑親／和サヨ／広司やす子／大

野繁芳／川畑統憲 16

一九四六年度募集 教育論文審査講評

審査委員代表 奥田 愛正 22

〔短歌〕別離 凡 人 23

原稿募集 教育大島編集係 23

編集後記 奥 親雄 23

二卷三号

一九四八年九月三〇日印刷

一九四八年一〇月二日発行

巻頭言 新制中学校の登場 源泉生

女性と言語 奄美高女教諭 龍 英勝

P T Aの強化即文教の確立 T 2

「教育随想」教員組合のあり方

鎮西中学与路分校 福 富栄

新国語教科書教材を縦にみて

大勝小学校 保坂 光男

数の概念について 川畑 親 5

「研究委員会特集」

社会科学習啓導案 中原 四 9

社会科学習参観記

笠利実業高等学校 友野 義国 11

教育研究委員会報告(数学科) 奥田 愛正 13

あなたが視学であつたら「教育民主化の上にと

んな事に先ず手を打ちたいか？」(ハガキ回

答(2)) 西忠茂/有川一郎/吉沢亮/た

かし三郎/茂山忠茂/泉四郎/坂木玄一/

長崎仁/盛岡平作

精神について ヴアレリイ 17

論文募集 奄美大島連合教育会

数学同好会 大島中学校 川畑 統憲

編集室 奥 親雄

二卷四号

一九四八年一二月九日印刷

一九四八年一二月一〇日発行

巻頭言 後援会よりの朗報

アメリカ合衆国に於ける教育

カトリック司祭

オーバン・バートルダス/永野善治(訳) 1

虐げられた子 奄美小学校 茂山 忠茂 5

「短歌」子供を歌える 諸家 (前田夕暮/北原

白秋/斎藤茂吉/土屋文明/古泉千堅/島

木赤彦/茅野雅子) 8

「危機に立つ教員生活」

教員生活経済について 美寿田 富

わが家のくらし 最上 忠市

生活の実態を語る ながさき・ひとし

最近分家教員生活 喜界二中 S・A 生

社会科の目標とその性格(一) 肥後 業昭

〔詩〕

ねこ 奄美小学校五年 得

引揚船入港 木ノ下三千夫

実践記録 私の理科教室 川崎 清心

後援会の動き 池地校の巻

池地小学校鎮西中学池地分校後援会長 福原 武彦

宿泊所開設

編集後記 奥 親雄

三卷二号

一九四九年二月二日納本

一九四九年二月三日発行

巻頭言 自肅自奮を望む 玉利 源泉

社会科の目標とその性格(三) 肥後 業昭

1

教育の民主化 山小学校 竹原 秀忠

新語の栞 編集部

〔実践記録〕

女子教育の実践記録 東 可梯

女子教育の実際 岩山 ハナ

〔短歌〕時雨るる日 田中 瑞人

〔教育随想〕雑記ノート T・I 生

〔実践記録〕国語(読方)学習指導案 名瀬中学校教諭 指野 秀男

〔短歌〕春草抄 村山 家国

教育界ニュース 沖繩軍政府文教部次長 デイ

フェンダーファー氏講演要旨 一月一六日於

奄美高女 編集部

13

原稿募集

文芸特集号(三月号)原稿募集

編集者のメモ 奥 親雄

三卷三号

一九四九年三月七日納本

一九四九年三月八日発行

新教育への課題	知名瀬小学校長	喜久	奎吾	10
増俸案を探る		編	集	11
小・中学校教員異動		部		12
学校教職員異動について	文教部長談話			14
暫定学籍簿記載要領	名瀬中学校試案			15
名瀬市内読書人について	名瀬中学校	泉	芳朗	17
三月号の詩作品について		泉	芳朗	20
教職員組合日誌				21
公人・私人				21
教育委員会法				22
原稿募集				
奄美大島連合教職員組合内教育大島編集部				
編集後記				T

三巻九号

一九四九年一月三〇日印刷

一九四九年二月一日発行

巻頭言

水間 喜也

危機に立つ大島経済―打開の方策は外資導入

大島経済復興委員長 沖野 友栄

美術展覧会学童部のぞ記

石崎 正一

「研究」言葉の魅力―其の二

龍 英勝

もの知り教室

朝 水球

「研究」忘却の心理

朝 水球

驚異の都市ニューヨーク

南日本新聞社特派員 岩永 信吉

「アースとアンテナ」音楽教育への提唱

古仁屋中学教諭 静 忠義

教育消息

「アースとアンテナ」教員議員は悪いだらう

か？ 水原 每美

「広告」

「アースとアンテナ」書道文化と奄美復興

古仁屋町節子中学校 文沢 天水

「詩・歌」短歌会詠草 隈元武好／田向初枝

常識のとびら

「詩・歌」

おい君

名瀬中学校 石崎 薫龍

養雨

早町中 七門 四郎

山のいちご

志戸桶小 保元 由紀

アメリカに於ける教員俸給比較表

志戸桶小 重稻 稔（訳）

「アースとアンテナ」遊戯教育に就いて

奄美校教諭 染川 静江

「創作・随筆抄」

ふめつの光

和泊高校教諭 川畑 一郎

百楽の妙薬

元高校一部教諭 武石 栄一

「詩・歌」短歌会九月詠草抄

大勝清／南正人／寛山千露

「創作・随筆抄」海拓

早町小学校教諭 林 洋郎

〔P・T・A巡り〕

本土P・T・Aの動き 深佐 源蔵

P・T・Aの機構を観る―湾小学校の巻

編集部 29

〔詩・歌〕人間復帰 詩の食卓 橋口 愨也

〔P・T・A巡り〕創立二十五周年記念事業演

芸大会記―奄美小学校の巻 由比 享 33

〔スポーツ便り〕

パリ―で流行する柔道 川石酒造之助

野球漫筆 島跡 尋人 34

参照事項 35

〔広告〕

編集後記 指野 享也

四巻一号

一九四九年十二月二三日印刷

一九四九年十二月二四日発行

特集 一九五〇年を語る

巻頭言

盛 景好

年頭の辞

知事 中江 実孝 1

〔特集〕座談会―一九五〇年を語る

〔司会〕村山家国(南海日々新聞社社長)／肥

後西生(政庁商工課長)／久井喜美説(名瀬

信用組合長)／窪田繁(政庁衛生部長)／重稻

稔(政庁教育課長)／碓山隆二郎(劇団演伎

座)三原局長／指野部長(本誌編集部)

〔ぶんげい〕短歌入門 中西晴雪(岐阜)／新迫

重義(広島)／富田鈴子(東京)／菅沼正一(秋

田)／町田千枝子(和歌山)

瀬戸内教育の反省 古仁屋中学校長 泰江 禎良 7

〔研究〕新教育と教育測定

知名瀬小学校長 喜久 奎吾 8

〔小作随筆抄〕

大晦日の夜の夢 里原 慶寿 9

野戦正月 名瀬中学校教諭 築 一義 11

〔俳句〕 小林 一茶 11

〔短歌〕 明治天皇 11

時論 盛 景好 12

〔ぶんげい〕世相川柳 羊大女子 13

〔小作随筆抄〕

新教育の茶番 元奄美高女教諭 朝 水球 14

蟹の足 与路小学校教諭 福原 小径 16

〔研究〕喜界風土記 早町中学校教諭 三井 喜禎 17

〔ぶんげい〕名瀬短歌会十一月詠草抄

永野喜美子／上松安彦／手島昭子／福島み

つ子／築一義／梅園千鶴子／児玉純夫／美

島セイ子／たつやひろみ／恵きよ／隅元武

好／寿重憲／山下シゲノ／宮原政秋／亀井

ふみ子／乾養仁／迫田俊雄／寛山那理夫／

栄尚志／永江則子 19

〔アースとアンテナ〕

教員生活よもやま話

面縄中学教諭 音野 文丸 20

断層 節子小学校教諭 松 玄栄 21

ささやかな労作の跡をみつめつつ

俵小学校長 浜田 英雄 22

格言及び俚諺集

歳末風景 永田橋の巻 ヤンゴの巻

由比享／鳥跡尋人 23

消息

〔実話長編〕地底の五年間

元海軍一等水兵 松戸利喜夫 25

〔ぶんげい〕

道 七門 四郎 37

児童と共に 隈元 武好 37

〔ハガキ回答〕

窪田繁(衛生部長)／肥後業昭(社会教育課

長)／西川泰寿(中農庶務課長)／重村俊一

(政庁財政部長)／肥後吉次(奄美評論社長)

恵たつ／吉田嘉(政庁総務部長)／豊田実(政

庁海運課長)／原田為喜(大島電業所長)／泉

俊義(全官公組事務局長)／柴つるえ(奄美

評論社) 38

〔創作〕きやめる 平 文雄 41

編集室より 指野 享也 43

学校演劇懸賞募集 43

〔広告〕

四卷二号

一九五〇年一月三〇日印刷

一九五〇年一月三十一日発行

特集 対日講話をめぐる諸問題 一九五〇年
を語る

巻頭言

三原 祥猷

〔特集〕対日講話をめぐる諸問題

奄美タイムス編集局長 小林 正秀

1

〔詩と歌〕「露が谷々をかき抱くとき」―わがうちに住むひとに

佐藤けいじ

5

〔特集〕座談会―一九五〇年を語る(第二集)

司会／村山家国(南海日々新聞社長)／肥後

西生(政庁商工課長)／久井喜美説(名瀬信

用組合長)／窪田繁(政庁衛生部長)／重稲稔

(政庁教育課長)／碓山隆二郎(劇団演伎座)

／三原局長／指野部長(本社)

〔詩と歌〕流行歌 別れの航路 佐伯 榕樹

9

沖永良部教育の回顧 和泊一中 武田恵喜光

10

〔研究〕

女教師に訴う

国頭校教諭

宮当 夕カ

30

中学校の音楽史 名瀬中学校教諭 早瀬 雄造

13

国語教室便り―児童詩について

秋名校教諭

長山 強

16

学習時間の記録

岡前小学校

巨 水

19

文教 俸給査定基準に就いて

文教部

21

主張

盛 景好

22

〔詩と歌〕

混迷

迫田 俊雄

23

菊

叶 保志

23

俸給査定基準表

文教部

24

一二月分食糧配給状況

24

〔随筆抄〕

童心点描

喜念小学校教諭

北見 千秋

25

いとなみ

小湊中学校教諭

森田 豊久

27

〔詩と歌〕夕日

大高三部

松岡 良彦

27

〔随筆抄〕むしばまれゆくもの

節子小学校長

松玄 栄

28

〔詩と歌〕児よ

三並 一平

29

〔アースとアンテナ〕

女教師に訴う

国頭校教諭

宮当 夕カ

30

裸!	住用中学校教諭	中 三次郎	30	「ぶんげい」片羽鳥	野々焚一子	5
馬鹿と真実		登島 英	31	「研究解説」中学校国語教材にあらわれた古典 教材の概観	福原 史朗	6
組合運動を阻むもの	官公組合事務局長	泉 俊義	32	「ぶんげい」鹿島立ち	佐伯 榕樹	10
断片		鳥跡 尋人	32	「研究解説」		
奄美排球大会に参加して				ドラマ教材について	秋名校 長山 強	11
	名瀬中学校教諭	肥後 敬	33	喜界風土記	三井 喜禎	13
「創作」光は遠く	名瀬小学校教諭	大勝 清	34	「ぶんげい」高砂を慕う	故郷の浜辺にて	
「広告」					大高生 松岡 良彦	16
編集後記		指野 享也		ナホトカの人民裁判(『暁に祈る』より転載)		
四巻三号				誰か夢なき	有賀 藤市	17
一九五〇年三月一〇日印刷				(本当の愛)	佐藤けいじ	21
一九五〇年三月一日発行				教育委員会法規程を探る	ベルジャエフ	23
特集 「暁に祈る」熱砂の誓		ナホトカの		教育特報		24
人民裁判				「訃報」広常吉氏		24
巻頭言		水間 喜也		与論中学校大バザー展覧会記	竹下 義徳	25
私の観た揚子江と中国人		岡よしみつ	1	「創作・随筆」		
女性の動向		香山 美子	4	迷路	岡前小学校長 巨 水	26
				愛は輝く	志戸桶小学校教諭 K 生	27

劣等児の指導に当って 川崎 清心 29

「ぶんげい」土入れ小唄 竹 寿吉郎 30

「アースとアンテナ」 F・M 生 31

川元・F両君の「俸給論」に訴う

真理の探究と学問の自由 龍郷一中教諭 川元 長龍 31

パール、バック女史の手紙 S・R 生 33

「ぶんげい」人生川柳暦 武石 栄一 33

「創作・随筆」光は遠く 大勝 清 34

スモーキング・ルーム 38

原稿募集

脚本懸賞募集について

あとがき

巻頭言 三原 祥献

日本における教育改革の理想 南原 繁 1

教育昔物語 平 巖松 9

「歌と詩」海 三並 一平 11

「実践と研究解説」

中学校国語教材にあらわれた古典教材の概観 与路小学校教諭 福原 史朗 12

教育実せん記録 天城村立北中教諭 富田 久則 17

言葉

「実践と研究解説」P・T・Aの動き―天城村 便り 岡前小学校社会教育研究部 宮山 清 21

「歌と詩」いにしある 島跡 尋人 21

北は千島から南は沖縄まで―領土問題について

の民主主義的主張(『中央公論』三月号より転載) 評論家 小堀 甚二 22

「歌と詩」花徳から手々まで 政岡 清歳 27

「校歌めぐり」

喜界第二中学校々歌 上原富雄(作詞) 27

名瀬中学校々校歌

特集 日本における教育改革の理想

一九五〇年四月四日印刷

一九五〇年四月六日発行

四巻四号

泉芳朗(作詞)／浦田国雄(作曲)

27

「歌と詩」漢詩

西山 白道

27

時々断片

由比 享

28

「アースとアンテナ」

F・M生に与ふ

龍郷一中教諭

川元 長龍

30

手の鳴らす音

龍 豊

31

「歌と詩」夜

大高三部

松岡 良彦

32

奥田部長の初人事は！！

編集部

33

スモーキング・ルーム

美原 生

34

随想

龍郷一中教諭

保坂 光男

35

沖縄初旅断片―教育情報委員としての沖縄ル

ポルターージュ

朝 水球

36

原稿募集

教育と文化編集部

防犯週間

あとがき

指野 享也

巻頭言

水間 喜也

教育長等講習会から帰って

西 武臣

1

詩をたずねて

福原 史朗

3

校歌めぐり―龍郷一中校歌

重原源隆(作詞)／浦田国夫(作曲)

3

教育の落魄―子供はどうなるか

愛媛県教育研究所長

小川 太郎

4

「詩と歌」花蕾

野々焚一子

9

ズロースと教育

麓川 甚球

10

アメリカ農村の4H運動

泉 有平

11

「詩と歌」白雲は空を流れる(故橋口惣也詩集

より)

橋口 惣也

12

数学界漫談

吉山 武一

14

本土講習会こぼれ話

実生活の反省

琉球農林省大島支部勤務

奥山 真義

19

金言

奄美大島における教育上の諸問題

三原 祥猷

20

時代の炎症エロ文化の自潰性(『出版ニュース』

より転載)

竹村 文祥

23

四卷七号

一九五〇年七月九日印刷

一九五〇年七月一〇日発行

鳥のロマンス 国鳥『キジ』物語 中西 悟堂 24
酔いどれ談義 村上 哲也 27

「生活」をめぐる諸問題―カリキュラム改造の

基礎として(『現職教育』より) 土器屋忠二 29

機構改革なる 文教部の新陣容 35

事務局だより 35

村上君を送る 三 原 11

ごあいさつ 村上哲也／野々焚一子 14

急募 プリント技術員 14

奄美大島連合教職員組合事務局

投稿者へのお願ひ 15

懸賞募集 16

四巻八号

一九五〇年八月二五日印刷

一九五〇年八月二六日発行

巻頭言 星村 源熊 20

十島巡り 文教部長 奥田 愛正 21

〔随筆〕

テニス 中江 実孝 3

きゆうり先生 泉 芳朗 4

夏ぶとん 財部つき枝 5

ガイドダンスとは? 石山 脩平 6

教育の落魄―子供はどうなるか 小川 太郎 7

〔詩と歌〕航路 野々焚一子 9

石碑(新教育より) 11

〔詩と歌〕和歌 詩 狂 生 14

観念と実践 14

〔解説〕朝鮮問題に就て 小林 正秀 15

奄美タイムス社主筆 15

悲劇の朝鮮とは 西山 白道 17

そねみの心 17

問題の主人公―成人教育主事 18

生徒会の構想について―大高二部 太田ユミ子 19

大高二部生徒会長 19

校長代理制と職能給 古仁屋中学校長 泰江 禎良 20

同根異体について 村山 家国 21

どうぞよろしく 自由社印刷部の皆様へ

	郡連合教職員組合(文化部)	22		疑念	元教員	北原 広志	3
	数学界漫談―野人	吉山氏のうん奥を聴こう		学ぶべきもの	広島文理科大学学長	長田 新	5
	(承前)	吉山 武一	23	校歌めぐり―与論小学校校歌			
	推理小説とは		25	泉芳朗(作詞)／芳喜与博(作曲)			9
	「詩と歌」星に歎く	香山 美子	27	時事随感	盛 景好		11
	仁術なり 先生なり			N・Mよりの手紙	福原 史朗		13
		名瀬市向井病院内		迷信を打破しましょう	大重 栄寛		14
	事務局便り	向井 長男	29	「詩と歌」やがては	くれない太坊		16
		文化部	31	ガイドランスは生きているか―生きた事実(『朝			
	慢性腎臓病を根治した私の経験―笠利村手花部			日新聞』より)			17
		笠利村手花部	32	「詩と歌」短歌(『短歌研究』より)			17
	「広告」	里 きなえ	33	シベリヤから帰つて	政庁補給部長	大津 鉄治	18
	編集後記	野々 焚	34	「広告」			20
	「広告」			ふるさととともに	香山 美子		21
				「研究」シマヤマトグチ	龍 英勝		23
				「詩と歌」くさぐさ	白 狼		24
				「御紹介」四つの自由	アプレ・ゲール		26
	四巻九号			本郡の人口			
	一九五〇年九月一日印刷・発行			小学校沿革概略史	奄美博物館	山下 文武	27
	巻頭言	三原 祥猷		世紀の決戦	日米対抗水上競技		28
	本土の現状―大学の窓から	豊 覚	1				

「詩」荒涼（『現代詩』より） 丸山かおる 30

「詩と歌」詩神に寄す（『現代詩』より） 平木 二六 31

医者の一言で不治の病が治つた体験 文 英吉 32

事務局便り 連教組事務局文化部総務部 森元誠務／宗利武 33

寮名決定 寮名決定 33

「広告」

四巻一〇号

一九五〇年九月三〇日印刷

一九五〇年一〇月一日発行

巻頭言

「解説」朝鮮問題と組合運動―特に教組を中心

として（『みなみ』より） 堀之内蚊龍 1

「広告」

会議の仕方（『私達の生徒会』より転載）文部省

半独立人（『世界』より転載） K・K 9

詩の学習に備えて―日本詩の変遷 嘉渡二中 長山 強 10

家族給 郡山 為業 12

山びこ 山びこ 国定 忠治 12

（学校・教員・児童生徒数グラフ 一九五〇年

七月末現在） 政庁企画調査課

（耕作面積 一九四九年）

「レポート」

世界市民（『月刊タイムス』より）

夏期講習 那間小学校 竹下 みつ 15

ダンス講習 今里小学校 山田 美恵 16

悩める方の訴え―風土病ヒラリヤに就て S・N 生 16

児童の生活と教材と指導計画 和泊町内城 豊山 清隆 17

金と銀 古仁屋町阿木名校 龍 豊 21

旅だより―私の恋愛観 鎮西村諸鈍校 香山 美子 22

内地の友に返信える 嘉徳小学校 吉川 信 23

極東政局とネール印度首相

自由社編集長

西田 功

24

ジプシーの独白

森元 誠務

26

〔時の科学〕

巻頭言

江口 哲也

1

人類退化論

惠藤 久美

27

天然色映画

予告

慶大医学部教授

安藤 画一

2

〔文芸〕

〔詩〕涙雨

野々焚一子

5

父の面影

中之島校

茂山 茂忠

28

いさかい

久美島一路

28

短歌会集

迫田俊夫／重乃南月／城間広周

28

／西本良子／巽千枝／森元誠務

〔詩〕秋風の頃

三並 一平

10

〔広告〕

〔時代常識〕ユネスコ

編 集 子

11

〔訃報〕故値直介氏

沖繩教育見聞記

手花部小学校長

長崎 仁

14

桜木の思い出

和泊校

甲 東哲

29

〔広告〕

教育雑感

大高一部

N A 生

18

事務局便り

〔詩〕リンゴ

久美島一路

19

〔広告〕

七月一日以降教員異動(文教部提供)

20

編集室の窓

野々焚一子

33

リンチ

X Y Z

22

四巻一―号

〔短歌〕風船

大内山喜三郎

22

一九五〇年一〇月二〇日印刷・発行

どんな家畜が多いか(政庁企画局調査課提供)

西阿室校を参観して―瀬戸内教育会主催

女教師座談会

連教組 由比 享 23

和サヨ(大高二部)／大野フヂエ(大高二部)

〔詩〕常に一角をのぞむ 佐藤けいじ 24

／広司泰子(大高二部)／染川静枝(奄美校)

あとがき 久美島 25

／栄ナツ(名瀬校)／篠原八重子(名瀬校)／

自治の為 投票は義務

逆瀬川トキ(名瀬中)／新美ハル(名瀬中)／

四卷一二号

高橋喜美枝(名瀬中)／三原局長(連教組)

一九五〇年十一月二七日印刷

／由比享(連教組)／久美島一路(連教組)

一九五〇年十一月二八日発行

野々焚一子(司会)

学徒研究篇特集

教員異動(文教部提供)

未納金を一日も早く 連教組

卷頭言

十島視察を終えて 文教部 中原四／大森正義

〔学徒研究篇特集欄〕

〔詩〕田園の憂うつ 福原 史朗

モンテーニュについて

こぼれ話 職員室落葉集 瓜賀 一郎

大高二部二年 仁 輝和 1

〔御紹介〕

清少納言について 大高二部二年 大倉 忠夫 3

ピューリッツァ賞 中共とは 22

宗教革命を巡りて 大高二部二年 久保 俊一 4

〔詩〕今うたう 野々焚一子 22

アメリカ便り 在米留学生 岡よしみつ 8

沖繩教育見聞記(承前)

新教育の悪臭 住用中学校市分校 林 正三 10

手花部小学校長 長崎 仁 23

〔短歌〕ひよこの歌 館山 一子 11

〔詩〕秋雨 久美島一路／香山美子 25

「創作」子供心 大高二年 先間 政明 27
コンクール日程 28

懸賞論文募集

教育祭

学童芸能コンクール合格者発表

祝 知事議員就任

「広告」

あとがき

五巻一号

一九五一年一月発行（*推定）

巻頭言
年頭の辞 組合長 水間 喜也 1
新年随感 暗すぎる 平 文雄 2
ふるさとの風 田向 初枝 3

一九五一年を語る座談会

文英吉(博物館主事)／吉松軍八(群議・医師)
／財部つき枝(元市議)／中江実孝(知事)／
大津鉄治(副知事)／屋田甚助(経済部長)／

小久保清光(医博)／寺師忠夫(大島高校長)
／平山源宝(群議)／肥後吉次(群議・奄美
評論社長)／編集部

学童芸能コンクール寸感

成人教育課長

「詩」無題

年頭随感

ビヤクドウ哲学漫談

「報告」文学懇談会

学童文芸コンクール・メモ

教育参観記―奄美校研究会

「雑感」あれこれ話 犬田布中 守谷 徳良 18
「主張」時代と女性 三並 一平 20
「詩」追憶 香山 美子 21
成人教育の構想 久美島一路 23

古仁屋町成人教育主事

「教育随感」アタビンの悲劇 喜島 範俊 24
アメリカ見聞録 政庁商務課長 山田 敏文 26
こぼれ話 職員室落葉集(第二回) 瓜賀 一郎 28
肥後 西生 34

一九五一年の教育

古仁屋中学校長 泰江 禎良 36

〔短歌〕苦悶集より 迫田 俊雄 39

〔コント〕議会風景 秋 穂 生 41

〔詩二篇〕

現代 保科 敏朗 16

標識燈 久美島一路 16

〔随感随想〕 連鎖の一瞬 三准原 浩 17

モヤモヤ性 南島孤児 17

かがみ 奥山 真義 18

〔詩と短歌〕短歌 原田美智子 18

極大極小 吉川 信 19

〔コント〕幸は身近かに 南郷 光良 21

〔随感随想〕一言集 林 久郎 24

名瀬小学校を観る 知名瀬小学校長 検事 黒 兔 生 25

〔随感随想〕刑余者に愛を 西小路蔦子 26

〔研究篇〕反古とやならむ―ある男の手帳より 由比 享 28

〔創作〕疑心暗鬼 北大島教員大会記 福原 富栄 31

〔研究編〕ローマ字の指導を始める前に 作島 久雄 33

〔詩〕つばき

〔私信公開〕Aに寄せて

〔随感随想〕独り憶う 東城校 井原 清寿 7

〔特集〕教師の黄昏(『中央公論』より) 東大文学部助教授 宮原 誠一 1

卷頭言 三原 祥献

五卷二号

一九五一年一月二六日印刷

一九五一年二月一日発行

〔私信公開〕道行の相違 茂山 忠茂 14

考えをもっているか 重稻稔(訳) 13

アメリカ人は教育上の諸問題についてどんな 文 英吉 10

徳之島沖永良部巡り 成人教育主事 巨 水 生 8

決議 北部大島教員大会

〔広告〕

編集後記 久美島一路

五卷三号

一九五一年二月二八日印刷

一九五一年三月一日発行

特集 青年教師にうったえる

巻頭言 盛 景好

特集 青年教師にうったえる

教育学者 石橋 勝治

(フアウストの一節) 5 1

待遇論其の他 住用村市小学校長 中 三次郎 5 5

テレビ 時代来る 7 7

〔研究篇〕挨拶 龍 英勝 8 8

徳之島沖永良部島巡り(承前) 文 英吉 11 11

〔詩と歌〕若き世代よ! 福原 史郎 14 14

沖縄便り 押 勇一 15 15

劇の指導を始めるに当って 岩佐 桂 17 17

〔詩と歌〕

孤独のなから 香山 美子 20

独酌―悲しいオランウータンへ寄せて 久美島一路 20

解説の窓 20

〔詩と歌〕 20

伸びゆく少年たちへ 堯 政四 21

裸像 天一坊子 21

〔随感随想〕真冬の夢 守屋 徳良 22

故石原茂治郎氏 林 栄寿 24

〔随感随想〕古い殻を破れ 24

〔詩と歌〕短歌(文藝春秋より転載) 24

五味保義/盛島秀史/西口なつ 25

〔郷土物語〕徳之島の三傑 山下 文武 26

米国婦人軍隊の練兵場 軍政府提供 27

全郡教員大会全貌記 編集 部 28

〔詩と歌〕短歌 朝空 迫田 俊雄 32

あとがき 久美 島 33

正誤表 33

五卷四号

一九五一年三月二五日印刷

一九五一年四月一日発行

特集 六三制の盲点

六三制の盲点

〔短歌〕春來たる 窪田空穂／若山牧水／九条

武子／古泉千樫／与謝野晶子

委任統治とは？

時論

名瀬小学校長

盛

景好

公安委員の設置について

公安委員長

重武嘉玖郷

春の学園を衝く(沖繩タイムス社説より)

〔随想〕この街に住みて

香山 美子

〔短歌〕森元秀夫／池豊良／もりもと・せいむ

学校計画の基本(『教育計画の手引』より)

ロリン・C・フォックス

成人教育のネライ

西山 白道

〔詩〕

とびこめ

バッドブラザー

歩きながら―或日の会話

龍 豊

群島議会傍聴記―学校職員の定員をめぐって

編集部

〔詩〕断層

野々焚一子

奄美教育資料購買組合創立趣意書

奄美大島連合教職員組合 奄美大島PTA連合会

戦時国際法からみた本群島の『占領』について

山之内 清

飲酒談義―酒のみ方

寒川光太郎

衛生雑言

窪田 繁

人事審議会記―異動に対する文教部の方針と

組合の申し入れ

由比 享

〔詩〕故郷を想う

静岡 忠八

〔旅行随感〕徳之島を巡って

実 隆三

〔詩〕うつろごと

名中 石崎 正

〔広告〕

35

〔広告〕

編集室より

久美島

17

16

14

13

12

11

11

9

8

6

17

17

18

20

23

24

27

29

30

31

32

34

五卷五号

一九五一年四月二五日印刷

一九五一年五月一日発行

特集 自衛権の最低線

巻頭言

時代の焦点―自衛権の最低線

名古屋大学法学部教授

山下 康雄

3

水産業から見た奄美大島

大島水産業会

麓川 甚球

8

教育デカメロン―恋カリキュラム

上田庄三郎

11

人格性検査について

文教部指導主事

有田 清与

12

〔詩〕愛情の灯

久美島一路

14

沖繩との同地名比較

山下 文武

16

〔随想〕衛生談義(つづき)

窪田 繁

18

貿易の手ほどき

琉球貿易庁大島支部

松村 吉寛

19

〔随感〕なぜでしょう?

海野なるみ

22

六三制の盲点(承前)

故長井義雄氏

理博・北大教授 中谷宇吉郎

23

ガリオアと奄美群島の復興(民政府提供)

合衆国奄美地区民政府長官

レイモンド・C・バーロー

25

成人教育主事会の収穫

三方村成人教育主事補

北島 尚

27

〔詩〕

節句―名瀬市の風景

野々焚一子

29

雨だれ

保科 敏郎

30

懸賞論文入選者発表

原稿募集

教育と文化編集部

33

〔広告〕

五卷六号

一九五一年六月一日発行

特集 社会科教育課程

巻頭言

〔詩と歌〕夏の譜 島木赤彦／若山牧水／今井

邦子／長塚節／石川啄木／川端千枝／中村 憲吉				文教部との質疑応答―群島議会傍聴記	編集部	34
沖繩の教育		三原 明夫	1	「詩と歌」五月の光	重村 中間	35
太平洋同盟と日本の力				「随筆」ある女教師の手記	吉原エイ子	36
N・S極東総局長 ハワード・ハンドルマン			4	「詩と歌」愛情の星	吉川 信	37
アメリカ見聞記(承前) 財政部長	肥後 西生	6		ポスター入選者発表		
「随感」花心によせて	香山 美子	10		新役員御挨拶		
大島に於ける犯罪の現状と犯罪防あつに關する私見	大島刑務所長 恵原 義盛	12		五卷七号		
「詩と歌」苦悶集より	南 一樹	14		一九五一年六月二〇日印刷		
私の学級経営―教育目標の設定				一九五一年七月一日発行		
	名瀬小学校教諭 大勝 清志	16		特集 五日制実施意見発表会		
林産業開発の新分野	営林省 渡島 繁	21		組合運動の方向		
れいめいを告げる教師				時の人―新司令官リッジウェイ大将のプロ ファイル		1
「詩と歌」流転	大田布中学校 守屋 徳良	22		古仁屋町行脚日記―成人教育を観る		
社会科学教育課程	文教部指導主事 神崎 西国	26				
「詩と歌」おぼろ夜	重原 源隆	30		大島とコーヒー	鎮西村 西 経夫	5
貿易の手ほどき				「詩と歌」雨の追憶	香山 美子	6
	琉球貿易庁大島支部 松村 吉寛	31		貿易の手ほどき		

	琉球貿易庁大島支部	松村 吉寛	7		連教組長 三原 祥献	24
	「随感随想」寸鉄	ラ・ロシュフコオ	8		時の焦点―五日制と青年の立場	
	数学余談	大高一部教諭 安吉 信之	9		奄美連合青年団 大山三津司	28
	「詩と歌」無題	四本 和子	10		あなたは文教部長にどんな人がよいと思いま すか。あなたの希望する条件を率直にお答 え下さい。 宮原政秋／窪田繁／佐藤圭治 ／政静光／川畑親／和サヨ／泉芳朗／本多 重一郎／松尾源正／有村武義／林忠道／窪 田義徳／山口正文／平山源宝／森元誠務／ 野口玄富	
	教師論―れいめいを告げる教師(承前)	大田布中学校 守屋 徳良	11			
	奄美博物館の性格	奄美博物館長 大重 栄寛	14			
	赤羽先生の子息	重原 源隆	14			
	紙上打診―待遇問題あれこれ(南海日々新聞六 月二八日)		17			
	「随感随想」ノミ取談義	瓜賀 一郎	19		「詩と歌」歌壇 北山汎／西口なつ／野島一彦	33
	田皆 成人学校入学式における祝辞	知名町田皆 泉 芳	20		大高三部独立への悲願	
	「詩と歌」グッドバイ	久美島一路	22		大高三部三年 自治会副会長 津留 健二	34
	「随感随想」				「広告」	
	時事断想 正義は勝つか	西山 白道	22		五巻八号	
	随感 生命線	住用 重村 中間	22		一九五一年七月二〇日印刷	
	「詩と歌」今様教師数え唄		23		一九五一年八月一日発行	
	「青年団主催五日制実施意見発表会」				信託統治とは?―国際連合憲章は吾々に何を	

教えるか(『奄美タイムス』より)

〔短歌〕	叶 保志	3	〔詩二題〕	新しき舞踊―石井舞踊を観て	大勝 清志	24
夏やせ	文教部教育課 奥田 米子	4	父	香山 美子	24	24
市立名瀬高校の設置に関して	市立名瀬高校長 川畑 統憲	5	民族の悲願	復帰運動の烽火天をやく―帰属		
〔詩〕星	西 ハル子	8	運動消息			25
ポツダム宣言		8	〔歌〕日本復帰の歌	久野 藤盛	31	31
カイロ宣言		9	〔広告〕			34
一市議の立場から	乾 養仁	10	私は悪人になりたい―私の修身科	福原麟太郎	35	35
とんどろ虫	山下 文武	11	〔短歌〕復帰悲願の賦	森元 誠務	37	37
待呆け	三崎 岳南	12	〔広告〕			38
大島に曙光―紬業の復活に就て	朝倉 孝義	13	新任挨拶―あかく兄弟達に			39
〔詩〕しづ柿	久美島一路	13	(挨拶)	文教部長事務取扱 西山 清良		
〔随感〕服装随感	亀井 ふみ	15		連合教職員組合		
〔短歌〕身辺雑詠	重原 源隆	16	五卷九号			
幼稚園教育の重要性		17	一九五一年八月二五日印刷			
	文教部指導主事 神崎 西国	17	一九五一年九月一日発行			
時の言葉		20	特集 性格教育について			
厚生協会の役割	厚生協会 前浜 博	21				
〔広告〕		24	巻頭言	三原 祥献		

「時論」世紀を彩る民族の悲願 復帰運動への 一考察	盛 景好	1	修身科の復活 大島高校二部 和 サヨ アメリカの学園生活 岡よしみつ 「上」と「下」	19
「随感随想」				25
金日成と皇帝と匪賊	松葉 秀雄	3	「詩と歌」民族の悲憤 おうがちきよし	25
木陰で	龍 豊	4	私は新文教部長に何を望むか？ 長崎仁／永	26
「西山」式の一片	光 洋	5	忠倫／森田豊久／大原実昌禧／逆瀬川トキ／ 中三次郎／三島清良／大勝清志／三島義雄	28
私は悪人になりたい―私の修身科(承前)	東京教育大学教授 福原麟太郎	6	「詩と歌」ある愛情 久美島一路	29
文教政策に対する私の抱負	文教科長 西山 清良	8	大島に曙光―紬業の復活に就て(完)	
「随感随想」漫想雑記	大井 憲吉	9	朝倉 孝義	
領土問題に関する対日条約草案修正方懇請	全国奄美連合総本部	11	五卷一〇号	
「詩と歌」初秋の声 尾上紫舟／長塚節／岡本			一九五一年九月二〇日印刷	
かの子／金子薫園／茅野雅子／島木赤彦		12	一九五一年一〇月一日発行	
性格教育について 文教科指導課長 西 武臣		13	巻頭言 祖国への最短距離 高 元	
全郡教員一番ツクシ	茶目 同人	17	情報会館の窓から 情報教育官 中原 四	
「詩と歌」嵐	香山 美子	17	友への書簡 海野なるみ	
「私の主張」			講和条約の成立と給与ベース改正にあたって	
生活思想の確立	奄美小学校 徳岡 辰己	18	文教部長 西山 清良	

	「詩と歌」孤独	久美島一路	6						
	アメリカの印象	岡よしみつ	7						
	講話成立と今後の復帰運動の方向	山之口 清	10						
	子供はつくられていく	ニイチェ	15						
	「詩と歌」この秋かなし	香山 美子	15						
	スポーツのシーズンを迎えて								
	文教部体育主事	田原 初男	16						
	復帰運動と組合の立場―臨時総会のプロフィール								
	編集部		18						
	奄美文教館建設趣意書		20						
	老人茶飲み語り	山下 文武	21						
	K子さんに寄せて	野島 一彦	22						
	新俸給査定終る		24						
	「詩と歌」短歌								
	紫蘭／小松夫／もりもと・せいむ		25						
	「私の主張」								
	分校の名称替について市小学校	中 三次郎	26						
	新代議員制度の一翼として	寛山 成男	27						
	胃腸病根治記	原野奈耶美	28						
	奄美大島連合教職員組合		33						
	声明								
	原稿募集								
	「広告」								
	五巻一―号								
	一九五一年一〇月一五日印刷								
	一九五一年一月一日発行								
	特集 講和後に来るもの								
	巻頭言 教育構想の再認識	久美島							
	講話後に来るもの								
	日本経済新聞社顧問	小汀 利得	1						
	「詩と歌」黄昏	野島 一彦	4						
	法窓夜話								
	沖永良部治安裁判所判事 ながおさ・のぶお		5						
	ローマ字教育への一つの考察								
	与路分校	福原 富栄	7						
	「詩と歌」父 真夜	村田 鉄也	11						
	「随感随想」								
	生命を見つめて	重原 源隆	12						
	秋の点描	音野 文丸	16						

理想と現実	荒田 兼良	17
新しい学校体系の教育的性格と職業教育の問題	南郷 光良	18
「詩と歌」悲願破れたり	喜界町 森元 秀夫	20
職業安定所とは？		
政府職業安定所長	泉 俊義	22
「詩と歌」夢	野々焚一子	25
「随感随想」一代議員として感あり	吉岡 為良	26
(求人求職統計表)		
三原組合長から朗電		27
「二千円ベースをめぐって」代用教員の鬱憤	龍郷一中 川元 長龍	28
「詩と歌」	北山汎／もりもと・せいむ	30
「二千円ベースをめぐって」		
上下の差額は妥当か？		
田検小学校	屋宮 正三	31
立場の反省	青野 哲久	33
青年教師諸君へ	文教部長 西山 清良	36
「徳之島リレー紀行―社会教育研究会雑記帳より」		
東天城村の巻		
古仁屋町成人教育主事補	堯 政四	37
天城村の巻	龍郷村成人教育主事 北島 尚	39
アメリカの印象(完篇)	岡よしみつ	41
新年号原稿募集		
消息あれこれ		
五卷一二号		
一九五一年一月三〇日印刷		
一九五一年二月一日発行		
巻頭言 主体性回復の時期	久美 島	
信託統治と拒否権		
奄美諸島日本復帰対策副委員長	西田 当元	1
「反省記録」まず自主的に		
名瀬小学校	大勝 清志	3
奄美群島の皆様へ		
奄美地区民政府長官陸軍歩兵大佐		
ウイルソン・ポーター・ジュニア		6
産児制限の問題	窪田 繁	7
ローマ字教育への一つの考察(承前)		

(詩二題) 無題	久美島一路	13	卷頭言 非理法権天	連教組長 高元 武	1
停年制をめぐって―文教部長との折衝内容	編 集 部	14	組合運動の目標		1
回想	音野 文丸	17	恩給問題と日本政府の動き―日本政府との恩給問題交渉経過		
マセすぎたコドモたちと子供っぽすぎるオトナたち		19	文部大臣官房総務課長 相良 惟一	武田恵喜光	2
残余主権と教育の植民地化	泉 芳朗	20	「詩歌」奄美のトスカ	香山 美子	4
「劇脚本」文教部募集第一等入選劇脚本 浜やどり	山口喜慶(作) 碓山隆二郎(潤色)	24	転換期に立つ教育委員会		
統一新教育機構への提案・要望事項		32	文部大臣官房総務課長 相良 惟一		6
バッジ(凶案)募集 奄美大島連合教職員組合			「詩歌」せせらぎ	手島 昭子	8
「広告」			教育委員会の盲点をつく	編 集 部	9
編集室だより	久 美 島		「詩歌」大人の悲しみ	山川みどり	11
			教育委員会の在り方		
			名瀬区教育委員 嘉本 文夫		12
			教育委員にのぞむ	山野 閑人	13
			閩族割拠の地区教育委員会		
			大高教諭 佐藤けいじ		14
			教育委員への私の言い分		
			名瀬小学校教諭 森 成隆		14
			「随想随感」恐怖からの解放		
			沖縄タイムス大島支局長 西田 功		15

派遣教員消息	編集部	59
編集あとがき	大勝	59
事務局だより		
〔広告〕		

六巻八号

一九五二年七月二〇日印刷

一九五二年八月一日発行

特集 問題児に愛の手を 破防法の恐怖

卷頭言 鹿児島県大島郡の復活	高元 武	1
中国をめぐる亜細亜と世界	岡よしみつ	1
〔詩・歌〕旅	きよし	2
復協と政治活動	青木しげる	5
奄美大島の復帰問題採択―日教組新潟大会		6
問題児に愛の手を		7
奄美民生事務所指導員	大瀬 忠三	7
〔詩・歌〕あしおと	山川みどり	8
日本の課題 破防法の恐怖	関口 泰	9
公安保障	白痴	11

〔随想・随感〕この子供達を頼む―私の沖縄雑記より 新亜細亜貿易商会代表者	松岡 一二	12
〔詩・歌〕彷徨	和田奄美人	13
〔随想・随感〕教育者は新平民である		
〔詩・歌〕うらぶれの乙女	音野 文丸	14
〔随想・随感〕学校教師の思い出	吉川 信	14
〔詩・歌〕		
〔随想・随感〕名瀬に上陸して―私は健全になつた	弁護士 川崎 秀節	16
た	北山 汎	17
亭主教育	一女教師	18
〔詩・歌〕土の香	盛島 秀史	18
〔研究・記録〕教壇実践記録 私の国語教室―言語活動の生活化		
十島村口之島小中校教諭	茂山 茂忠	19
子等とともに(ペスタロッチのスタンツの手紙より)		26
〔随想・随感〕伸びんとする詩心		
図書館長	文 英吉	27

〔詩・歌〕島の夜情曲	松田 朗	28	
〔随想・随感〕巷に想う	名高教諭 築 一義	29	火災お見舞有難う 御礼の言葉
〔詩・歌〕迷路に立って	柏木 生	29	平田りさい生徒一同
〔研究・記録〕			〔児童文芸〕
ことばの感覚	女高教諭 龍 英勝	30	日曜日
龍郷村社会教育活動の一端	龍郷村社会教育主事 北島 尚	32	筆入
音楽教育の立場から	名瀬中学教諭 早瀬 雄造	34	ともだち
〔参観記〕			日曜日
奄美小学校校内研究会をみて	文教局大島駐在指導主事 有田 清与	35	日曜日
大島、喜界の教育の動きをみて	文教局指導主事 上間／金城／西平／玉起	37	母
鐘の音	孤 舟	38	児童作品募集
お友達がほしい 友情のたより		38	読者の声
学校風土記―わが郷土の唯一の短大 琉球大			編集あとがき
学大島分校を訪ねて (編集部) 大勝 清		42	原稿募集
当分の組合運動諸問題 連教組長 高元 武		46	機関紙名募集
〔詩・歌〕島影	南 島 緑	47	〔広告〕
			六卷一〇号
			一九五二年九月二〇日印刷
			一九五二年一〇月一日発行
			特集 教育評価の理論と実際 二島分離へ

の抵抗

雑詠

和田奄美人

巻頭言 奄美大島現職者公務員身分打切絶対

〔随想・随感〕つくりだすもの―書道の脈動

反対 高元 武

鶴丸高校教諭 川上 南溟

教育私説―生活なき教育は亡ぶ

〔読者文芸〕

元与路校長、現政府食糧課長 鬼塚 真臣

再会 香山 美子

組合長に何を望むか 嶺倉進／幸田利宏／今

放魂―春をひさぐ教え児のために

里小中学校／本多重一郎

きよし

〔主張〕子供のいたずら―科学心の萌芽を培う

〔随想・随感〕青い空 龍 豊

東京教育大学附属小学教官 近藤 釧三

林中日記 石川 啄木

〔読者文芸〕田の業

〔読者文芸〕沖縄 吉川 信

沖永良部高校教諭 佐伯よう樹

〔随想・随感〕武田恵喜秀先生、有馬万里代先生の音楽演奏会を聴いたまま…見たまま…

〔特集〕教育評価の理論

感じたまま… 名瀬小教諭 松田 朗

文教局大島駐在指導主事 有田 清与

幸福のありか ドストエフスキー

〔読者文芸〕吾が恋は 作田 盛次

〔特集〕幼稚園 小学校における教育評価の一

〔研究〕道徳教育の実際―子供の生活を中心に

考察 名瀬中学校教諭 神崎 西国

―本校の歩み

組合長に希望する 竹田 利秀

教育大学附属小学校教官 岩切 正行

〔物語〕少女のろ―私の小さな物語(南の広場)

原稿募集

から 新屋敷幸繁

〔読者文芸〕はらから(和泊二中・城南の華より)

復帰運動の焦点―私達の悲願を阻むもの

編集部(大勝)

39

〔詩・歌〕闘病雑詠

立 神

実行家

吉屋 信子

先生の浮沈(斉藤清衛の「先生の浮沈」より)

斉藤 清衛

43

新民法の解説 家族制度と新民法

名瀬地区巡廻裁判所判事

瀬木 秀信

〔特集〕二島分離への抵抗―孤島の子等は絶叫

する 編集部

44

原稿募集

〔特集〕日教組のたたかい―われわれは市町村

設置になぜ反対したか 教委と日教組

〔読者文芸〕復帰の叫び(和泊二中・城南の華より)

新年文芸作品募集

47

〔随想・随感〕林文雄先生を慕いて 金城 昌広

〔詩・歌〕湾遠原の中を歩いて きよし

編集後記

49

大重栄寛先生 双葉学校(和光園)に就職

〔広告〕

〔随想・随感〕よせあつめ

古仁屋中学教諭 吉川 信

20

六卷一―号

一九五二年一〇月二〇日印刷

寛山 光洋

20

一九五二年十一月一日発行

〔詩・歌〕笠利、龍郷修学旅行吟から

特集 派遣教員研究レポート 日教組のた

はその中核となれ

たかい

三方村崎原小学校長 荒田 兼良

21

〔詩・歌〕不運

香山 美子

22

才能は誰にもある―幼児教育を軽視するな

ルソー(エミール)

23

鈴木 鎮一

1

〔特集〕派遣教員報告 課題にとっくむ教師―

日本教育の実態 女子高校教諭 葉山 俊一

〔大島の昔話〕猿と蟹の話

竜常信(話者)／龍英勝(採集)

〔特集〕派遣教員研究レポート―独立日本の自

立教育をみて 名瀬中学校教諭 肥後 敬

初秋 巽 千枝

〔特集〕派遣教員研究レポート―本土教育の現

状報告 名瀬中学校教諭 石崎 正

魂の教育 石川啄木

片田舎にも鉄筋コンクリートの学校―復帰こ

そ諸問題解決の鍵 大島 忠道

〔詩・歌〕風 孤 舟

〔教育斗争〕教育闘争課題 逆立する教育行政

―空転する地区教委会 差別待遇を抹殺せよ

編集部(大勝)

母国政府への嘆願―現職者の身分並に恩給

奄美大島連合教職員組合長 高元 武

編集後記 47

六卷一二号

一九五二年一月二〇日印刷

一九五二年二月一日発行

特集 蝕まれゆく子供たち 奄美オリン

ピック記

巻頭言 春は遠からず 奥田 愛正

〔特集〕

少年犯罪の動向とその補導

名瀬地区警察署警部補 宇崎 哲也

蝕まれゆく子どもたち―悪環境から子ども

を守れ 編集部

児童憲章 10

〔随想・随感〕欲しいものは便所と井戸だ―私

の沖縄近況雑感 人事委員会委員 美原 秋穂 16

〔文芸〕美しき友情 立美 孝夫 17

〔随想・随感〕

商人のうそは罪なきもの―教師の生商法の記

ここにこ堂主

秋の陽ざしに―僻地の子等の追想 19

	惜秋	古仁屋中学校教諭	吉川 信	22	中学校の思い出	土岐 夢郎	45
			隈 元 生	24	小学校教師の思い出	重武嘉玖郷	47
	「主張」『教育と文化』の廃刊を聞いて―暗中に				「特集」第3回 奄美学校体育大会の記―陸上		
	光を失う	大島女子高校教諭	龍 英勝	25	競技・排球・野球		
	「教育研究」				大谷／松元幸也／肥後敬／高瀬		
	社会科の学習指導について―倉沢剛先生の				「文芸」農土の―かく	香山 美子	56
	講演を聴いて		葉山 俊一	27	本大会最高記録		
	国語教育に於ける私のなやみ―方言をめ				視覚教育の材料について		
	ぐつて		龍 英勝	33	奄美琉米文化会館長		
	「文芸」朝鮮の子よ	ロマノ・バクト		39	ウオルター・アー・オーエンス		57
	「読者文芸」				真人のことば		57
	祝女くもがなし		龍 英勝	40	「創作」割勘事情 別名 酒は好きではのまない		
	蜜柑山―父に代って		龍 英勝	40		栄養 一路	58
	親と子(歌垣式に)		龍 英勝	41	「教育と文化」誌の改編にあたってきよし		63
	初冬雑詠		伊林 洋郎	41	発注品		
	「組合運動」組合運動の当面の諸問題				編集後記	大 勝	
		連教組長	高元 武	42			
	真人のことば			43	七卷一号		
	「学校生活の思い出」				一九五三年一月五日印刷		
	女学校の思い出		和 サヨ	44	一九五三年一月一五日発行		

教師の倫理綱領

日教組

年頭の辞 民族的自信回復の年

副主席 泉 有平

組合長私信 島の名にかけて闘う 高元 武

〔文芸〕復帰の歌 学生の演説会 佐伯 榕樹

〔事務局情報〕

恩給問題並に身分問題について 大島 忠道

琉球文教図書株式会社と連教組の関係

愛国心とは？

ステイヴンソン／キャンデル博士

〔事務局情報〕

月賦制を開始―事業部の活動

月賦制販売貸付について―共済組合便り

〔随想・随感〕療舎から訴える―療養断想

金城 昌広

〔文芸〕

俳句 当季雑詠

撰 泉洋

短歌 療養雑詠

昌 広

〔主張〕

『教育と文化』の廃刊とは

寛山 光洋

殿方へ一言―女は弱い

香山 美子

〔文芸〕

冬の日

北山 汎

夜更け

盛島 秀史

〔学童文芸〕

ふんちや峠をゆく(修学旅行)

喜界高校三年 新納 由紀

学級俳句会作品

笠利小学校六年ろ組

知識寿優／植田知登枝／永田洋子

当面の教育行政問題 奥田前文教局長との対談

編集部

真人のことは

復帰運動の方向―実質復帰(行政権即時回復)

完全復帰(条約三条撤廃)

編集部 大 勝

〔広告〕

七卷二号

一九五三年一月一五日印刷

一九五三年二月一日発行

特集 忘れられた教育―雨漏り教室の惨状

巻頭言 青年教師の奮起

おおがつ

恩給問題後報

総務部 大島 忠道

教師は正しい政治を求める―政治活動の自由

確保

編集部 大 勝

義務教育費国庫負担をめぐって―日教組の闘争

日教組第二回全国教育研究会状況報告

高元 武

祖国政府並に祖国教育関係者への懇願書

奄美大島連合教職員組合長 高元 武

第二回全国教育大会メッセージ

奄美大島連合教職員組合長 高元 武

真人のことは

〔随想・随感〕暴談放歌

巨 水

〔俳句〕年越えて寒に入る

遠藤 孝敏

〔随想・随感〕生の迷路―一女教師の手記

奄美小学校教頭 米田 米為

〔詩〕思索

かわばたちかし

日教組視察団来島 連教組の歓迎計画

議員の教委兼職への反発―不当な支配だ

孤 舟

〔特集〕

忘れられた教育―朽ちはてた校舎の惨状―

学童は寒さにここえている 編集部

私達の教室 名小六年一組 西村 寿子

私達のボロ教室 名小六年一組 勇 ひさ子

ガラス窓がほしい 名小三年一組 松下 京子

早く雨もり教室をなおして下さい

奄美校児童会副会長 野村紀世子

雨の日の教室 奄小四年五組 田中 満代

雨が降る教室 奄小五年二組 窪 忠和

教育を平和に結ぶ―ユネスコとは

〔特集〕

雨漏り教室解消 名瀬小学校校長 泰江 禎良

学力低下は誰の罪ぞ

22

21

20

20

19

19

18

18

17

17

17

16

15

14

一女教師

14

〔広告〕

七卷三号

一九五三年二月一〇日印刷

一九五三年二月一五日発行

特集 日教組は闘っている 全面的教育行

政の鹿児島県移管運動

巻頭言 職階制の実態

おおかつ

日教組は闘っている―教育職員の俸給闘争経過

全労働者と共に闘う

編集部

組合長私信 全面的教育行政の鹿児島県移管

―実現可能である 速急に世論化せよ

高元 武

〔詩〕私の闇

孤 舟

大島の昔話

山下 文武

〔短歌〕復帰悲願の短歌 奄美大島沖永良部高

等学校生徒作品

佐伯榕樹(指導者)

〔詩〕

丘

かわばたちかし

卒業の哀歎

女高三年 平 玲子

組合運動革新の根底―自らの封建制に目覚めよ

寛山 光洋

〔短歌〕雑詠

隈元武好(牧羊)

〔新給与ベースへの反発〕

傍系教員のうつ憤

森 成隆

等しからざるを憂う―私の俸給論

宮原 政秋

校舎復旧調査資料提出について

五二年度共済組合予算表

当面の教育闘争諸問題

大島 忠道

〔新給与ベースへの反発〕新給与体系の封建性

を衝く―差別の三本建の給与制・地域級の

職階制を撤廃せよ

編集部 大 勝

〔広告〕

(死亡通知)

編集部から

15

13

13

12

8

1

15

16

17

18

19

20

20

21

22

七卷四号

印刷日不詳

一九五三年三月一日発行

労組と結束せよ 東大講師 宮原 誠一

元南西諸島官公署職員の身分 恩給等の特別

措置に関する法律案要綱 編集部

教員の自己革命を 帆 足 計

「組合運動の革新」給与ベース改善の志向点―

組合組織の改善強化の急務 奄美小学校教諭 西 忠茂

西 忠茂

「詩」標識燈 想い出 言無希憲子(寿重憲)

「組合運動の革新」教育労働者としての自覚 音野 文丸

音野 文丸

「詩」散文詩 いろりばた 香山 美子

「児童文芸」短歌 名瀬小学校六年三組児童作品

議員の教委兼職への警告―逆コースも甚だしい 孤 舟

孤 舟

本気の沙汰か 西山天外

教委と議員は両立せず 水間 喜也

「教育防衛斗争」

大島教育は危機に立つ―民族零年への反発

編集部 大 勝 14

調査室便り これでも学校か 危い!!”S O

S”この惨状をみよ 調査室便り 18

「児童文芸」俳句 名瀬小学校六年三組児童作品

県総務部長三井氏 現地視察に来島 20

共済組合便り 死亡給与金一万円也贈呈 20

変わりつつある体育の指導諸問題 肥後 敬 21

御礼 亀山 良子 24

七卷五号

一九五三年三月三〇日印刷

一九五三年三月三一日発行

(写真)朝鮮戦線でひらめく自由諸国の国旗

左より米国 国連 南鮮共和国 コロンビ

ヤの夫々

本土出張報告書 連教組長 高元 武 1

「短歌」雑詠 大海 広 3

組合運動の在り方―先手に先手をうて

本多重一郎

奄美宝物大観編纂趣意書
奄美博物館長 西山 清良

御礼

小湊小学校長

勝 平八

編集後記

27

孝行

組合運動革新 吾々は労働者である―勤労大

〔広告〕

衆と共に生きる

編集部

大 勝

表彰状(登山俊彦)

奄美大島連合教職員組合長

高元 武

大島昔話三題

龍 英勝

〔随想・随感〕

教育雑感(教生実習日誌より)

琉大分校

松下 成子

女性の教師観

琉大分校

西 邦子

再び原爆の乙女

たつやひろみ

島の民話

碓山 益子

〔教育研究〕体育指導要領に就ての諸問題―排

球界に望むもの(続篇)

肥後 敬

〔短歌〕起重機 或る女

かわばたちかし

〔教育研究〕新しい美術教育について

石崎 正

21

『宮古教育』(宮古教育会)

一号

一九四七年八月二五日印刷

一九四七年九月一日発行

創刊の辞

祝宮古教育創刊

宮古知事

具志堅宗精

1

〔広告〕

祝宮古教育創刊

平良市長

嵩原 重夫

2

宮古教育の創刊を祝す

学校後援会連合会長

亀川 恵信

2

宮古教育の誕生をよろこぶ

教育会長

池村 恵信

2

宮古教育創刊に寄す

与儀 達敏

3

教育雑感

下地 敏之

3

祝辞

元教育会長

池村 恒章

4

初志を貫徹して戴きたい

稲村 賢敷

4

教壇随見

喝 魔 堂

5

歴史は繰り返す

宮高校

島尻勝太郎

5

〔研究〕

民主教育の一方途 池間校長 饒平名浩太郎

6

計算指導一考察(一) 宮高農林部 川上 武次

7

音楽教科書編纂に就いて 委員 豊見山恵永

8

下学年の政治教育

8

川平博士の美挙

8

文教部便り

8

原稿募集

8

一号

一九五〇年四月一五日発行

二号

一九五〇年四月二二日発行

発刊のことば 宮古教育会長 池村 恵信

祝辞 宮古知事 具志堅宗精

〔広告〕 1

『真理と正義で貫け』 文教部長 砂川 恵敷

教育の振興なくして真の楽土はない

学校後援会連合会長 亀川 恵信

〔広告〕 2

黎明来る 宮古教育会副会長 与那覇春吉

教員異動発表 3

文教部長談 3

〔広告〕 3

民政議会終る 4

ペン滴 4

学校めぐり―中学校独立校舎を讃う(下地中学

校訪問記) 4

米、ソ連の非難に答え モスコ―で覚書手交

(ワシントン一八日発ロイター至急報) 1

米、ソ連に逆抗議(ワシントン一八日発UP至

急報) 1

琉球を無期限占領―ヴォ次官、下院で証言

地方税法案修正不可能 1

日本の国連加入は講和後 1

社会党両院議員総会 1

〔日本便り〕

野口神社 1

二千元から七千円 学生の生活費 1

古橋選手四百に新記録 1

〔広告〕 1

B軍票の交換レート決る 2

郵便貯金、保険料 軍命あるまで封鎖	2	四国外相代理会議(ワシントン二四日発ロイター)	1
優秀教員を表彰 後援会連合会で	2	米軍輸送機 富士山麓で墜落(渉外局特別発表)	1
母校に寄附 学生連盟城辺支部が	2	琉大合格者発表延期	1
増俸は暫く保留	2	生活上こそ最有力な反共武器	1
読者の声	2	〔広告〕	1
教育会総会	2	民主学園の自治的訓練 南中学初の試み	2
柔道選手上沖	2	運動用具どっさり	2
琉大入試終る	2	教育総会	2
恩給請求を早く	2	久松中学近く独立	2
〔広告〕	2	婦人連合会顧問	2
		お母さんの教室	2
		平和実現は婦人の手で スミス女史激励	2
		ペン滴	2
		〔広告〕	2
三号			
一九五〇年四月二七日発行			
民主主義を積極的に擁護 トルーマン大統領			
演説(ワシントン二四日発UP)	1	四号	
国府首脳ゆい林撤退(香港二四日発中央社)	1	一九五〇年五月四日発行	
〔我等の主張〕PTAについて	1		
ソ連外務次官にボゴモロフ氏(ロンドン二四日	1	三国外相会談の議題発表(ワシントンUP)	
発UP)			1

濠、共産党非合法化案 早急通過を期待(シド

ニー報)

両院議長マ元帥訪問

孝宮様告期の儀

ハインズ准将来島

未亡人協会結成か

琉大入学生激励会

〔広告〕

青少年臨時厚生協会近く結成

本年度行事予定

PTA解説(上)

無料でフィルム提供 宝山氏の美挙

宮古代表決る

久松中学独立

人事消息

ペン滴

〔広告〕

米琉親善特集号 Special Edition for the

A. R. Friendship

永久に親善の好を継続せん

ヂエームス・T・コールマン

栄ある米琉親善日を迎えて

宮古知事 具志堅宗精

米琉親善日の意義

国際参加の自信を強む 蔵相 池田氏(談)

米留学生に渡航費を贈る 米人生徒奮起

徹底した実物教育

アメリカ教育の展望―学制と学校教育

〔アメリカよもやまばなし〕

酔生夢生

赤ん坊の紹介

『十二』大歓迎

留学生及び国民指導者の受入計画

PTAの運営

〔米琉親善感想文特集〕

思い出―クリスマスの晩

七号

一九五〇年五月二六日発行

西辺中学三年 山内ユリ子

濠東京の対日講和討議を重視(キャンベラ三〇

平南中学三年 下地 恒毅

日AFP)

1

米琉親善日にあたって

百米平泳に世界新記録

1

狩俣小学校六年 池間 正幸

野口英世博士と新里金福氏

1

アメリカの皆様へ 平一校五年 波平美穂子

医学博士 亀川 恵信

1

アメリカのへいたいさん大すき

遂に報いられた吾子の栄冠 感涙にむせぶた

2

下地小学校二年 下地 和夫

らちねの母―母、師、弟の綴る純愛美談

2

米琉親善日について

水上競技大会―平一南中水高池青が優勝

2

伊良部中学三年 西原 友弘

人事消息

2

夢に見るアメリカ 鏡原中学二年 津波古千代

〔広告〕

2

米国の皆様へ 西城中学三年 仲松 洋子

一〇号

1

米琉親善日について 福嶺小学六年 波平 勇夫

一九五〇年六月一六日発行

1

平二小学五年 関口 英雄

ダ顧問来日 講和問題検討(ワシントン一三日

1

八号

一九五〇年六月二日発行

米四大国外相会議を召集か(ニューヨーク一

1

日AFP)

対日講和の促進が必要―ニューヨークタイム

ジョンソン長官沖繩を訪問(渉外局一二日発表)

1

ス論評(ニューヨーク三二日UP)

スターリン首相辞任説(ロンドン一三日AFP)

1

「論壇」現今宮古教育の悩み(一)教育に対する

理解

芳沢 健有

1

槌音高し

公共建物

1

ア長官六月中に数回演説

学校備品整備に市役所張切る

1

ソ連最高会議開会(モスコ―一二日UP)

日本の小麦協定加入で英の態度を打診(ワシン

1

NRAへ四八代表出發

ト―一九日發UP)

1

離婚の世論調査

「論壇」現今宮古教育界の悩み(二)芳沢 健有

1

天龍川ハンラン

増加する少年犯―ゆう戯場斗鶏場への少年の

1

韓国の日本機械買付に援助

立入禁止

2

教職員の増給案成る―発令は今月中に

物貨的更生面と教育面の一元化 社会課長(談)

2

教員異動発令

救急法講習会

2

民政府職員異動も同日発令

「父母の欄」新教育としつけについて(下)

2

全琉臨時厚生協会創立総会

米留留学生並国民指導者募集要項

2

恒例のバレ―大会近づく

C 生

学校視察日程変更

2

「父母の欄」新教育としつけについて

人事消息

2

「訃報」池城朝愷氏

2

一三三号

一一一号

一九五〇年七月六日發行

一九五〇年六月二二日發行

三八度線越えて北進説濃厚(ワシントン四日發

年度中には戦前の姿に完全帰復―学校建築の

UPヘンスレー特派員)

1

台湾旅行は政治問題と関係なし マ元帥声明 (渉外局一〇日午後〇時特別発表)	1	沖繩視察記 夏服コンクール	2
日本義勇兵徴募は講和条約締結が先決(ワシン トン八日発AFP)	1	二四号	
ト大統領反共立法を要請(ワシントン八日発AFP)	1	一九五〇年九月二二日発行	
米軍の攻撃最高調(八日、トレメインUP東京 支局員)	1	新鋭米第七師団 海兵隊側面に展開(UPトレ メイン東京特派員二〇日発、共同)	1
UP東京支局員 トレメイン	1	UP東京特派員 トレメイン	1
晋州の反撃は局部的攻勢(ワシントン七日発AP)	1	韓国軍だけでも三八度線を突破(韓国某地にて 二〇日AFPコードリー特派員)	1
米軍九キロ前進(朝鮮某地八日UPポーツ特派員)	1	AFP特派員 コードリー	1
UP特派員 ポーツ	1	三国外相会談コミュニケ発表(ニューヨーク 一九日UP)	1
北鮮政府抗議文内容(ニューヨーク八日発AFP)	1	洛東河西岸に第二の橋頭陣地(第二師団前線に て二〇日バービー特派員)	1
解説 欧州会議(共同)	1		
本土旅行断片(一)	1		
与那覇生	1		
明かるい日本 活躍する日教組 与那覇氏語る	2		
与那覇春吉(談)	2		
お祝儀は三〇円―生活改善運動に乗り出す婦連	2		
正しい選挙 正しい政治の為に	2	特派員 バービー	1
八重山博覧会 大いに啓発された	2	米、印度提案に反対(ニューヨーク一九日AFP)	1
下地明増(談)	2	ソ連更に新提案(ニューヨーク一九日AFP)	1
ペン滴	2	新知事に期待	1

中共出席否決さる(ニューヨーク一九日AP) 1

高い叡智、慎重な判断で投票せよ 司令長官

談話

合衆国陸軍少将 琉球列島軍政長官

R・B・マクロア(談話)

知事選挙 西原候補に凱歌 一二四二票の差で

沖縄は平良氏 八重山は安里氏 2

教育問題 解決に努力 金的射止めた西原さん

健児之塔に喜捨 教育会員並龍潭同窓会員が

米国留学生試験実施 2

話の卵 2

ペン滴 2

本土旅行断片(七) (三)育英小学校参観

与那覇生

〔広告〕 2

(正しい人を正しく選べ) 2

近く対日講和締結か 米、極東委と打合せ 1

琉球は国連の信託統治下におく

〔随筆〕御光 垣花かおり 1

〔論壇〕選挙の後に来るもの 与那覇寛長 1

新軍政官歓迎会 1

米国のブ博士にノーベル賞 1

よき後継者を得て嬉しい 具志堅知事城辺町

議へ挨拶 2

教員検定受験生百名を突破 2

図書法講習に宮古から一人出席 2

平良市各校運動会期日決る 2

人事消息 2

学園に綾をそえるバナナ園 佐良浜だより 2

本土旅行断片(八) (四)育英小学校参観

与那覇生 2

二六号

一九五〇年一〇月六日発行

二五号

一九五〇年九月二十九日発行

在鮮米空軍力を強化 五戦闘機隊配備につく

(在鮮第五空軍基地にて三日UPコードリー特派員)	UP特派員	コードリー	1	検定試験合格者 近日発表	2
米空軍北鮮各地を爆撃(渉外局四日八時四五分特別発表)			1	各校運動会期日	2
航空隊、平壤北方の輸送隊を攻撃(在鮮第五空軍司令部四日UPコードリー特派員)				人事消息	2
				ペン滴	2
				二八号	
	UP特派員	コードリー	1	一九五〇年一月一六日発行	
米、ソ連の和平解決提案に反対(ワシントン三日AFP)			1	トルーマン大統領 マ元帥と重要会談 台湾	
ソ連に原爆なし(ホワイト、サルファスト、スプリングス三日AFP)			1	問題が山か(ニューヨーク一四日APロバーツ記者)	1
中共軍介入の危険あり(ニューヨーク三日UPヘンスレー記者)	UP記者	ヘンスレー	1	包囲下の北鮮軍一万二千と激戦(米第一騎兵師団司令部にて一四日UPスタックハース特派員)	1
印度妥協案提出(ニューヨーク三日AP)			1	高原めざして進撃(韓国第一軍団司令部にて一四日UPチャップマン特派員)	1
韓国軍高城占領			1		
選挙後に感あり(一)		垣花 良香	1		
民政府各部事務引継準備			2	特派員 チャップマン	1
敵味方なしで大祝賀会	多良間村		2	第五空軍活躍(第五空軍司令部にて一四日UP)	1
平一校展覧会好評			2	船舶三〇隻を撃沈(アメリカ空母フィリピンシー号上にて一三日UP)	1
甘藷の始祖砂川親雲上例祭賑う			2		

米、対英七億ドル援助を約束す(ワシントン 一三日AFP)	1
仏印にも援助(ワシントン一三日AP)	1
国連総会朝鮮委員会決定を承認(ニューヨーク 一三日UP)	1
新軍政官を迎えて	1
退所の日を待つ患者二〇余名 結核療養所の 近況	2
恐るべき伝染病各地区に散発(公衆衛生部便り)	2
日本留学生を募集	2
砂川清松君の奇特	2
“宮古よさらば” 具志堅知事郷土首里へ	2
郡競技会は来月一三日	2
近く宮古報知新聞発刊	2
海綿、真珠専門家来訪	2
〔随筆〕御光	2
垣花かおり	

二九号

一九五〇年一〇月二七日発行

米ソ会談開始 対日講和について(ニューヨー ク二四日UPヘンスレー記者)	UP記者	ヘンスレー	1
台湾問題対策準備 ダレス顧問急遽帰華府(ワ シントン二二日UPヘンスレー記者)	UP記者	ヘンスレー	1
甘藷萎縮病に就て 試験場長 垣花 実記			1
新党の結成は来月中旬頃か			2
米国留学生宮古から四名			2
国勢調査指導員調査員講習			2
ラミー原料を沖繩軍政府が販売 ポンド一九 セント			2
〔読者の声〕			
郵便ポスト 市内 H・S 生			2
宴会 下里 是山			2
〔随筆〕御光			2
垣花かおり			

三〇号

一九五〇年一一月二日発行

原子力の国際管理と軍縮を強調	トルーマン		教育時評 学校合併問題について	喝 魔 堂	1
大統領演説	米国大統領 トルーマン	1	12月1、2、3日 国勢調査近づく	返答は	
恩給は当分支払わない		1	正確完全に		2
島田知事の慰霊塔建立(琉球日報所載)		1	諮詢委員で恩給支給促進か		2
理学博士垣花秀武君を語る			佐良浜で放火事件 内縁の妻へのりん気から		2
	医学博士 亀川 恵信	1	「読者の声」教員を優遇せよ	一 教員	2
民政府部長級発表 課長級は新部長就任後		2			
女子高職員住宅完成		2			
小中学校教員検定試験成績発表		2			
日本留学生第一次合格者発表		2			
白川湾に変死体 ハッパ爆死か		2	私達の主張 育英会組織に就て		1
木管の受渡しに就て	体育課長 安慶田能央	2	観世音菩薩に就て	岡本 恵昌	1
国勢調査員講習日程変更		2	〔広告〕		1
実地授業も七名合格		2	米国視察を終え 教育設備の完備と優秀な教		
			師陣容―比嘉氏帰来談		
			高等学校教諭 比嘉三郎(談)		2
			新部長の初学校視察		2
			人事消息		2
			西原知事 多良間へ		2
			民政府職員が記念植樹		2
新文教部長に期待		1			
前文教部長の功績を讃う		1			

三三三号

一九五〇年一月二七日発行

三四号

一九五〇年一月二日発行

『鐘の鳴る丘』を平和館が上映

2

島尻部落民の美挙 金福氏援助に奮起

2

〔創作〕時雨―長編“孤島苦”の一節

本村 武史

2

三五号

一九五〇年一二月一四日発行

育英会組織の声 宿望の日来るか？

文教部長 垣花 恵昌

1

よい才能を生すために

琉球臨時厚生協会宮古支部長 川平 昌晃

1

一日でも早く！！

学生連盟委員長 高校三年 与那覇 実

1

冷凍工場を売却

〔広告〕

日本に於ける育英事業に就て

1

佳話三題 学校復興へ参加 久松小学校児童

2

の美わしい奉仕

2

開墾して後輩の奨学金をつくる

2

山林の復興に一致協力せよ マ長官住民に要望

2

琉球情報教育委員会を設置 本郡代表に垣花

氏を推薦

2

ミルク給食を継続

2

巡廻映画を社会課が実施

2

琉台貿易会議

2

見舞金千円をおくる 下地校児童不具の先輩

2

に同情

2

〔創作〕時雨―長編“孤島苦”の一節

本村 武史

2

三六号

一九五〇年一二月二三日発行

育英会組織の声 育英会の誕生を祈りて

学校後援会連合会長 亀川 恵信

1

胎動する育英会

群島議会議員 高原 恵典

1

育英会設立を望む

農林高校後援会長 友利 清俊

1

埋もれた英才を救え

女子高二年 山内キヨ子

1

平和館落成祝賀会

1

群島議会再開 農林課設置や医官任用問題で

質問活発

〔広告〕
年頭の辞 知事 西原 雅一

2

医師特別任用規定を廃せ

年頭の言葉 教育者と子供達に贈る

文教部長 垣花 恵昌

2

教育委員会近く設立か

私の好きな言葉

野球大会開催要項決る

嵩原恵典(郡会副議長)／仲松恵爽(巡裁判

2

『きけわだつみの声』を上映

事)／亀川恵信(医学博士)／川平昌晃(医学

2

政府記念植樹活着率好調

博士)／下地敏之(弁護士)／入山キク子(婦

2

〔創作〕時雨―長編“孤島苦”の一節

連会長)／東風平恵令(副知事)／福嶺紀仁

本村 武史

2

三七号

一九五一年一月一日発行

(医師)／垣花恵昌(文教部長)／久貝良順(法

務部長)／高良憲松(工務部長)／真喜屋恵義

(経済部長)／砂川真美(官房長)／西原雅一

(知事)／宮国泰誠(公衛部長)／天久恵秀(宮

水連)／兼島方道(検事)／池村恒章(織工組

〔広告〕

2

年頭のことば

長)／川上大輔／福里芳夫(海運会社支店長)

1

宮古民政官府クリスマスメッセージ

学事奨励優勝旗 新城賢英氏が母校に寄贈

2

司令官 歩兵大佐
ウイルソン・ポーター・ジュニア

1

米国視察記 ユートピア アメリカ

1

高校教諭 比嘉 三郎

1

『新世代』(八重山教育会)

一号

一九四八年二月二日印刷
一九四八年二月二四日発行

「解説」新学制 六三三制度の輪郭編 集部	18		
「教材」沖繩歴史(一回)	23	富村 真演	
「短歌」山村小情	25	阿佐野 広	
教員・生活・断片	26	窮 通 生	
「読者文芸」編集部選	27		
(詩)夜の雨	27	花野かをる	
(詩)お月夜	27	松田 賢	
(詩)鏡	27	成宮 信	
(短歌)秋草	27	八重子	
(短歌)祖母	27	末矢 よし	
投稿規定	27		
「連載小説」花いまだ落ちず(一回)	28	葦間 洌	
声	31	A 生	
一年の歩み(文教部)	32		
編集後記	32	大 浜	
「広告」			
「広告」			
企画宣伝部長／富村同副部長／大浜編集長	7		
八重山教育の方向	14	糸数 用著	
学習指導法(教育要覧より抜粋)	17		
日本文部省教科書局教材研究課長 青木誠四郎			

二号

一九四九年三月一〇日印刷

一九四九年三月一五日発行

卷頭言 企画宣伝部長 玻名城長輝

(英文) 教育に関するメッセージ

沖繩軍政府教育(情報)部長 アーサー・ミード

教育に関するメッセージ(訳文)

平良文太郎(訳)

「短歌」開南の秋 大原の夏 喜友名英文

ペスタロッツチの教育思想に就て 森田 次郎

ペスタロッツチの墓碑の銘文 8

西表開発問題に就いて

琉球軍政府西表事業庁長 森 勇

ひめゆりの歌(歌謡詩) 川水流 清

科学精神について 比嘉 政雄

「解説」小学校に於ける社会科とはどんな教科か

石垣 信政

「詩」隕石 小島 大助

「教材」沖繩歴史(二回) 富村 真演

学芸会雑感

S T 生

22

教育会座談会―躰について―家庭から学校へ

出席者 瀬名波長宣／浦添為貴／塩谷栄二／

石垣長泰／柴田敏子／花城節子／玻座真春

子／高宮広雄／平良文太郎／玻名城企画宣

伝部長／富村同副部長／大浜編集長

教育会の目的 組織

23

琉球の心臓西表はうなる 特派 葦間 冽

声 編集後記 33

新世代 購読予約申込 「新世代」編集部 34

三号

一九四九年五月一〇日印刷

一九四九年五月一五日発行

新学制施行記念特集号

卷頭言

離任の辞 平良文太郎

平良会長を送るの辞 副会長 糸数 用著 3

新学制発足―抱負を語る	4	天地の心(『菜根譚』高等学校文学教材より)	
(新学制発足) 登野城小学校長 桃原 永祐	4		
(新学制発足) 石垣小学校長 坂名城長輝	4	「父兄の声 母姉の声」	
先づ設備の充実 石垣中学校長 糸数 用著	5	あなたは八重山の教育についていかに見、	
(新学制発足) 崎山 用喬	5	いかに考え、いかに希望されますか	
六三三と文化	6	農業 石垣 英政	22
八重山高等学校 第三学年 宮良 信賢	6	飲食店 島仲たつ子	22
陽光	7	商業 石垣 正行	22
八重山高等学校附属中学校三年 古藤 邦彦	7	農業 潮平 寛保	22
西表開発問題に就いて	8	牧志つるゑ	22
沖繩軍政府西表事業庁長 森 勇	8	宮良 当育	23
「教育ニュース」日本の新制大学発足 変って	11	飲食店 桃原 周子	23
いる入試の方法	11	風呂経営 富村 信元	23
「随想」 榎のかけ	12	元軍政府タイピスト 崎原 和子	23
森永 用美	12	真喜屋実睦	23
「教育ニュース」	13	獣医師 内原 英郎	24
沖繩大学はいつ開かれる?	13	八重山幼稚園保母 東江 光子	24
助教諭よ頑張れ!! 六月末に無試験検定	13	獣医師 大浜 孫章	24
施行の予定	13	医師 翁長 信全	24
「父母講座」PTAとは?	14	農業 花城 正量	24
琉球の心臓西表はうなる	17	獣医師 獣医師	24
特派 葦間 冽	17		

声

「詩」カンナの花

石垣 長泰 33
成宮 信 33

「連載小説」花いたまだ落ちず(第二回)

葦間 洌 34

八重山郡学校職員一覧表

推理の問題

科学知識の問題

(鼠はまだ生きています) B・H・チェンバレン

記事のお断り

編集後記

「広告」

四号

一九四九年二月九日納本

一九四九年二月一〇日発行

宮良小学校々歌

喜友名英文(詞)／外間永律(曲)

音楽雑感

「詩」千鳥節

「短歌」於茂登に登る 春—秋

小学校教科書の批判

高校学書考

「詩」嵐の中

これからの教室

会員の声 赤字の弁

新しい学籍簿について

石垣小学校便り

新制中学校社会科教材集(一)

学校経営便り

「文苑」

真白な道

月 せみ

ラムネのたま

高校 外間 永律

伊波 南哲

喜友名英文

新島 繁

森田 鳩眠

栗盛 広幸

新垣 正安

一 教 員

視学官 大浜 孫佑

大浜中学校 宮良 賢貞

白保分校(大浜中学)

道 子

山里 節子

登小六年 登小三年

登小三年 牧野 光博

道 子

山里 節子

登小六年 登小三年

登小三年 牧野 光博

登小三年 牧野 光博

企画宣伝部長 宮城 信勇

会長 糸数 用著

中等国語教科書の批判—今後の国語教育

水野 清

吉野知事の体験談を聞いて									
高校三年 山城 葉子									
36									
若い人創刊号所載 「開業医」の批評									
XYZ生									
37									
編集後記									
喜									
37									
教育会便り(夏季総会以降)									
38									
五号									
一九五〇年二月一〇日発行									
(進歩主義の学校)									
2									
日本文学思潮の主流									
高校 半嶺 当吉									
3									
教育委員会法									
5									
久部良祭浦マツリ見聞記(一九四三年三月五日)									
沖繩新報所載)									
友野 旗人									
7									
登野城小学校近況									
12									
石垣中学校校歌									
13									
新制大学入試問題の一部									
13									
慰霊 物故教職員(登野城小学校御勤務)(1)									
14									
平家物語雑感									
新垣 良心									
15									
「詩」たこ									
玻名城長正									
17									
農林高校だより									
17									
社会科雑感									
新垣 正安									
18									
侵略はいかに準備されたか―朝日新聞法廷記者団著「東京裁判」より									
19									
花と人生									
伊波 南哲									
28									
「問い」と「答え」									
石中 南 孫意									
33									
英語雑感									
石中 浦崎 徹									
36									
慰霊 物故教職員(登野城小学校御勤務)(2)									
39									
「広告」									
六号									
一九五〇年七月一五日発行									
当選標語「民主主義」									
2									
A Finger Play Let's Pretend (指あそび)									
TheIma Johnston / 宮城信勇(訳)									
3									
Unt Corner Spell the Name (考えもの)									
Harry Dean / 宮城信勇(訳)									
8									
Find the Pictures (何の音でしょう)									

Catherine Corley Anderson／宮城信勇(訳)	9
Quarrel(アメリカ童謡 けんか)	10
近代日本の発達(モダン日本より)	11
大浜信吉(訳)	11
ワナメーカー氏の店則	13
通信社の略語	18
ユニットについて	19
白保校 桃原 用永	19
三千世界	21
新しい教育と自由時間	22
藤田 長信	22
新しい文学の道へ	24
伊波 弘祐	24
「こそ…め」の係結について	26
生盛 孫貞	26
米人学校―私の職場報告	30
福田 和子	30
国語教科書を批判する(朝日評論昭和二五年一月号から)	34
浦松佐美太郎	34
八重山学校職員録	41
八重山教育会(役員名簿)	41

一号

一九四八年八月発行

ビッグ、ヒット

発刊のことば

会長 島袋 俊一

「祝 創刊」

教育建設へ重大な使命

民政府文教部長 山城 篤男

創刊を祝す

宮城 久栄

「海外トピック」

マ將軍朝鮮建国式典へ（東京一五日SGS）

3

対馬返還を冷笑（東京一九日SGS）

3

インフレ抑制法案提出（ワシントン五日UP）

3

原稿募集

3

新学制「6・3・3」を語る―山城文教部長と一

4

問一答

4

視察雑感

文教部視学 喜屋武真栄

6

教壇より送り出した新村長の横顔（其の一）―

の歌（歌詞）

新沖縄青年

6

宮城久栄

長嶺 秋夫

11

米国に於けるハイ・スクール発達史

世嘉良 栄

12

連合会日誌

13

教壇より送り出した新村長の横顔―渡嘉敷真睦

島村 春夫

14

山の伐採体験記

首里 石川 盛亀

15

全島児童生徒数調（七月分学校報告）

17

A君への手紙―学芸会のあり方について

中今 信

18

人生の歌

ロング・フェロ

23

私の抱負 教育会後援会の運営について

教連主事 新里 清篤

24

はがき回答欄 長髪か？断髪か？―各ハイ・

スクールより

24

海外教育ニュース

27

提言 体罰の追放

大山 春夫

28

編輯後記

28

沖縄教育連合会懸賞募集当選歌

宮平弘志(作詞)／兼村寛俊(作曲)
 沖繩教育連合会懸賞募集当選歌 新沖繩少年
 の歌 (楽譜)

松島朝興(作詞)／兼村寛俊(作曲)

三号

一九四八年一二月発行

ビッグ、ヒット

巻頭言

TO "THE NEW EDUCATION"

Assist Director Information and

Education Military Government

H. Earl Defenderfer

新教育に寄す

軍文情報副部長

H・E・デイフェンダーファー

新数学の基礎となる「点」と「数」との融和に就て

上江洲絜統

(短歌)

石川 啄木

社会科について

文教科編輯官

城間 正男

9

高原雑感

潮 狂 生

11

体罰について

太 白 山

11

応援歌

K・S 生

14

〔広告〕

教連サロン

16

自由主義教育を語る座談会 子供の教育をど

うするか?

(雑誌『光』第一卷第二号より転載) 赤井米

吉(明星学園長)／霜田静志(児童研究家)／

野口彰(豊島中学校長)

17

(詩歌) つとめ路

城 ゆきこ

20

一九四八年度 体育大会観覧記

文教科視学 喜屋武真栄

21

教連日誌

Jeep の語源は?

25

教育風土記―糸満地区の巻

地区教育会 G・T 生 26
 編輯後記 外 間 28

(A Merry Christmas 寄せ書き)

五号

一九四九年二月発行

四号(*推定)附録

一九四九年一月二〇日発行

ビック、ヒット
 巻頭言

To "The New Education"

H. Earl Defenderfer

To Teachers

Virginia Cheney

新教育に寄す

軍情報教育部長

H・E・デイフェンダーファー

会と催

他山の石 学生の自治(二)

島袋 定久

沖縄の教育者へ

軍情報教育部 ミス ヴァージニア・チニー

北中南 大学設立の促進を叫ぶ!! 若人の

時ありて感あり

太白 山

北部

特派 K・S

師表談義

真栄田義見

中部

特派 T・K

ユークリッド幾何学とは

辺土名高等学校教官 上江洲紮統

南部

特派 G・Y

沖縄と文学

池宮 秀意

懸賞脚本当選者名

布哇大学師範部風景―沖縄教育連合会新里主

13 10 8 7 6 5 4 3 2 1

事『質問帳』応答書	島袋 文一	14
教連日誌 一月		17

〔短歌〕

磯の小墓 香島 郁夫 18

稚鶏 西 幸夫 18

新かなづかい漫語 伊江初等学校長 名嘉元浪村 19

海外教育ニュース 21

教連サロン 22

〔講座〕

宗教改革 民主々義道標Ⅱ 富名腰尚武 23

英語 小波蔵政光 25

美しいもの N・S 27

原稿募集 沖教連新教育編集部 27

編集後記 28

〔広告〕 28

日本留学生

五号附録

一九四九年二月（*推定）

教連募集懸賞一等当選作「或日の蔡温」

野嵩高校 大城 立裕

〔広告〕

六号

一九四九年五月二〇日発行

教育は前進す ジョン・コバート 1

Education Moves Forward 石山 脩平 3

アメリカ教科書の概観 2

はがき廻答 中松源光（本部中校）／宮城盛雄 9

（名護中校）／恩納中等学校

科学漫筆 作用と反作用 エム・生 10

次号予告 12

原稿募集 12

教育新語 12

古い石垣の中から 仲宗根政善 13

イギリス革命 民主々義道標Ⅲ 15

情報課長 富名腰尚武

教連日誌 17

ワークブックに就て(日本新教育動向)

〔広告〕

南国パルナシアン詩集

池・雅

古い学校 新しい学校

蘭 ローレンズ・ウィリアムズ／高原不二夫(訳)

先輩訪問記―仲田徳三翁乃卷

編輯後記

七号

一九四九年九月一日発行

巻頭言

新 里

沖繩に寄す 在日沖繩人連盟副会長

稲嶺 一郎

科学教育に就て

知念高校校長 屋良 朝苗

教育基本法

うめくさ(ニュース・ウィーク誌より)

教科及時間配当基準(日本)

米人記者の見たる京都の教育状況(タイム誌より)

り転載)

崎浜秀雄(訳)

星空

真 栄

N兄によす

喜屋武真栄

力と熱(教育要覧より)

先輩訪問記 林唯功翁の巻

新 里

教連サロン

外 間

〔文芸〕

漢詩訳習作

大城 立裕

忘れられたもの 恩納中学校教官

宮里 慶仁

担当児童数(初校教員一人当り)

豆ニュース

教育新語

アメリカ革命 民主々義道標IV

情報部長

富名腰尚武

教員統計(1949年3月調)

御断り

原子時代

上原 栄

開扣線

脱字 (訂正)

男女別教員統計(1949年3月調)

私の心境と立場

宮古・狩俣中学校長

砂川 冬子

35

15

16

17

19

20

21

22

24

24

25

27

28

29

31

32

35

35

35

35

次号目次

原稿募集

編輯後記

学校劇教師の資格(小山内かほる『学校劇の精

神』より)

座談会 教育委員会について

安里延(学務課長)／小波蔵政光(庶務課長)／

真栄田義見(那覇地区教育長、那覇高校長)／

金城和信(那覇地区教育委員)／比嘉俊成(真

和志中学校長)／新里清篤(教連主事)

原稿募集

教育連合会

「詩」市民の歓喜

まつ島朝興

ぎ音の出し方

島袋 文一

米国職業教育の輪郭

研究生 島袋 文一

「広告」

ミルク工場見学―六学年の社会科

文教附属校 国吉 順質

編集部より

外 間

「広告」

保得助(豊見城初校長)／玉城泰一(糸満高

校長)／真栄田義見(那覇高校長)／与那嶺松

助(首里高校長)

学校劇の芸術性と素朴く性(玉川学校劇集より)

9

一九五〇年七月一日発行

7

一九五〇年六月三〇日印刷

4

一一号

武者小路実篤一言集

武者小路実篤

年頭の感

社会部長

山城 篤男

立場の反省と推進

教育連合会長

島袋 俊一

討議 学校教育発展の諸問題

山川宗英(文教部視学、司会)／端山敏輝(兼

城初校長)／親里嘉英(壺屋初校長)／浜比嘉

宗正(城北初校長)／佐久本嗣矩(与那原初

中学校長)／喜舎場朝鴻(百名城初校長)／宜

保得助(豊見城初校長)／玉城泰一(糸満高

校長)／真栄田義見(那覇高校長)／与那嶺松

助(首里高校長)

学校劇の芸術性と素朴く性(玉川学校劇集より)

記事もれ

37

37

38

10

一九五〇年一月一五(一)日発行

九号

教員と読書	豊平 良顕							
琉大の構想―琉大問題座談会において								
	ドクター・チャップマン							
「短歌」米琉親善の日に	小林 寂鳥	3						
私は想う―ニューネーションと国語問題に就て	諸家回答							
豊平良顕／嘉陽安春／池宮城秀意／島袋俊一／平良文太郎／富名腰尚武		4						
「短歌」幼き日その他	松山 一郎	6						
単位制について	前原高校 新屋敷文太郎	7						
小学校における作文の指導	吉田 瑞穂	10						
留学生日より		12						
「随筆」								
西洋紙と畳	山口 重和	13						
誕生日のない子	比嘉 俊成	13						
奇しき因縁その他	喜屋武盛雄	14						
「短歌」久米島紀行	松山 一	15						
故里に帰って	潮 狂生	16						
研究会風物誌（カリキュラム誌より）		18						
教育時評								
「創作」ぶつそう花		20						古タカ山人
フロンティアと観光団		23						江島 寂潮
フロリダ サザンカレッジ		24						端山 敏経
「コント」								
貧燈記		23						美里 青吉
没我の境		24						泊 之男
「安里延氏を悼む」								
故安里延氏略歴		26						
想い出								
山城篤男／仲宗根政善／城間正雄／宮城盛雄／新里清篤		26						
五月のばん歌	教育連合会長 小林 寂鳥	28						
編集後記								
「広告」								
一三二号								
一九五〇年九月一四日印刷								
一九五〇年九月一五日発行								

教育の支柱	島袋 俊一	28	教科書風(朝日評論より)	勝田 守一	28
学事視察日記(一)	ベリヤ大学	28	専門外の教育	上田庄三郎	28
原稿募集	ハワイ更生会研究生 島袋 文一	1	「短歌」天地行々	比嘉 俊成	29
教育座談会 第三回 日本教育を視察して		4	「創作」 虜愁	泊 之 男	30
山城篤男／真栄田義見／中村じゅん／宮里			「広告」		36
国本／池宮城秀意／豊平良顕／西銘順治／			ガリオア物資	新 里	
仲里誠吉／小波蔵政光／仲里金雄／佐久本			放出物資	安	
嗣善／大宜味朝恒／島袋俊一／新里清篤		5	編集室で		
単位制について 前原高校 新屋敷文太郎		12	「広告」		
教育と社会		15	一三号		
「短歌」あをぎり頌	松山 一郎	15	一九五〇年一〇月二五日印刷		
教育世論調査を行って 大道初校 喜屋武盛雄		16	一九五〇年一〇月三〇日発行		
フロリダ サザンカレッジ	端山 敏経	19	胡差地区特集号		
次号予告		23	巻頭言 新政府並に議会に望む	H	
「随筆・随想」			フロリダ・サザンカレッジ		
なす科と文芸	山内 茂月	24			
ないものからあるものへ	東江 正美	26			
久高紀行	玉城 清人	26	学事視察日記	1	1
近ごろ特に感ずること	當間 嗣永	27	ハワイ更生会研究生	島袋 文一	5

コザ地区教育の諸問題

北中中学校長 兼城 賢松

現地レポート 軍作業地帯の子供達

座談会 軍作業の地帯の教育—コザ地区教育会

喜屋武視学／比嘉博(地区教育会長)／兼城

賢松(北中城中校長)／町田宗敬(北谷初校

教頭)／喜瀬川可精(嘉手納中教頭)／酒井勇

吉(野嵩中教官)／稲嶺盛孝(越来初教官)／

野村正弘(読谷中教官)／真喜志八重(越来

中教官)／多和田真祐(地区教育会主事)／知

花寺次郎(教育長事務所)／安里永誠(北中

城中教官)

なぜ農業教育は不振か 古堅初校長 山内 繁茂

教育随想 西原中校 平敷 静男

中頭地区の思い出 安里 彦紀

コザ教育地区の概況 大山 朝常

〔広告〕

第一回学力テスト講評—高校英語 学務課 安里彦紀／上間亀盛

創作童話懸賞募集

読者の声

学校運営の機構について

胡差教訓指導主事 東 俊三郎

都市における初等中等学校社会科教材一覽表

試案 学務課

編者の声

編集後記

〔広告〕

一四号

一九五一年一月二〇日印刷

一九五一年一月二五日発行

優良図書紹介号

〔広告〕

教育往来 島袋 俊一

就任の挨拶—全島校長会にて

文教部長 屋良 朝苗

アイフェル講座 学習指導の側面から見た学

校経営の諸問題 宮里 国本

〔広告〕

〔広告〕	11	卷頭言	H
留学生通信		指導主事運営行脚雑感	
フロリダ・サザンカレッジ		指導主事	喜屋武真栄
(三)	12	本校における自治活動	
ハワイ厚生会留学生		北谷中等学校	宮里 朝吉
端山 敏経	12		
原稿募集	13	どんな教師を要望しているか	
〔広告〕	13	金武中等学校	徳山 清長
具志川中校		学校経営の過程において(其の一)	
体育音楽研究会	14	宜野座中等学校	中山 興真
	14	地方短信	
指導主事		本校社会科学習試案	
喜屋武真栄	15	城南初等学校社会科研究部	山田 弘
〔広告〕	15	我が信条	坂田校 渡 宗公
万相談室		童話口演の実際に就て	石川中校 川平 朝甫
知能測定法について、適性検査に	18	職員調査 教員数並に資格別調査(文教部提供)	
ついて	18	アメリカ便り―旧元旦	
安里 彦紀	18	より)	
アメリカ便り		一九五一年度予算及事業に就て(代議員会記録	
N. E. Aに招かれて	18	より)	
	18	沖繩教育後援連合会	
新里 清篤	19	一九五一年度予算及事業に就て(代議員会記録	
編集後記	19	より)	
〔広告〕		沖繩教育連合会	
〔広告〕			
〔広告〕			
一五号			
一九五一年四月一〇日印刷			
一九五一年四月一五日発行			

沖縄教育後援連合会 1951年度予算

古謝初校 当間 正典 16

沖縄教育連合会 1951年度予算

学校訪問雑感—T兄に寄す

36

一九五〇年度沖縄教育後援連合会 研究助成

指導主事 喜屋武真栄

18

金交付校選定まで

「文教情報」実験学校設置の意義

21

学校運営の機構について

給与表の見方に就て

共済組合

胡差教訓指導主事 東 俊三郎

事務局より

編集後記

41

一六号

一九五一年八月一日印刷

一九五一年八月七(一〇)日発行

〔広告〕

職業教育はどうあるべきか(一)—職業教育指導官ネルソン氏講習記録

職業教育指導官 ネルソン

1

五十年度を顧る

阿波根朝松

5

道徳教育を中心とする社会科教壇のなやみ

浜中校 松田 弘

9

初等学校社会科指導の一考察

二号

一九五一年八月二四日発行

新俸給決定す(文教部提供)

研究教員の受入れについて

牛島教授 教育測定並評価講習概況

牛島教授

共済組合便り

P・T・A座談会

〔広告〕

天野文部大臣署名「今日に生きる倫理」100

冊 学徒援護会より寄贈

共済組合加入者調査

日本視察教員近々出発

教科書入荷

教育往来

どんな雑誌がどれだけ読まれているか

行事

原稿募集

原稿募集

〔広告〕

六号

一九五一年一〇月二〇日発行

デモクラシーでは学校は人民と共にある

軍事情報教育部長

H・E・ディフェンダーファー

P T A 結成促進協議会にあたって

後援連合会長 崎浜 秀主

P T A とは 教育後援連合会主事 安村 良且

第一学年 P T A 通信—開南初等学校の巻

高良校後援活動について 後援会長 大嶺 真英

後援会活動によって建つ四十五万円の赤煉瓦

永久校舎二教室—読谷高校の巻

教育予算のみに数百万円 起債三百万円で永

久二階建校舎

与根、瀬長部落に救災品を送りましょう

4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---